

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

| | |
|------------------------------------------|---|
| (1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況 | 1 |
| ①学生の確保の見通し | 1 |
| ア 定員充足の見込み | 1 |
| イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要 | 2 |
| ウ 学生納付金の設定の考え方 | 4 |
| ②学生確保に向けた具体的な取組状況 | 5 |
| (2) 人材需要の動向等社会の要請 | 6 |
| ①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要) | 6 |
| ②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 | 7 |

学生の確保の見通し等を記載した書類

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

① 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

薬学研究科薬科学専攻修士課程の定員の長期的かつ安定的な充足を担保するために、私立薬科大学(薬学部)の大学院進学状況・定員充足率および立命館大学理系学部の大学院進学状況を分析し、適正な定員設定を検討することとした。次項「イ」において詳細な分析結果を述べるが、定員設定の考え方・定員充足の見込みの概要は以下のとおりである。

私立薬科大学(薬学部)の大学院進学状況・定員充足率については、一般社団法人私立薬科大学協会による資料(資料1「平成29年度私立薬科大学(薬学部)卒業生進路調(4年制)」、資料2「薬学部4年制学科を有する私立大学の大学院進学状況」、資料3「平成30年度 私立薬科大学(薬学部)大学院入学志願者調」)および同協会による「平成30年度私立薬科大学(薬学部)大学院入学志願者調」をもとに作成した資料(資料4「入学者数ベースおよび在籍者ベースの大学別定員充足率」)をもとに分析を行ったが、大学間で大きなばらつきが見られ、参考値とすることは困難であると判断した。ばらつきの原因は大学個別の事情によるものと考えられる。

一方、学部学生の入学者構造が類似する立命館大学理系学部(理工学部、情報理工学部、生命科学部)の大学院進学率は、2017(平成29)年度実績で平均48.7%、うち学内進学者が91.2%であり(資料5「2017年度立命館大学理系学部の大学院進学状況」)、このデータを基礎として定員を設定することとした。

本学薬学部創薬科学学科設置以降の過去4年間の平均在籍学生者数は約53人である(4年次生:33人、3年次生:44人、2年次生:80人、1年次生:54人。年次進行保留(いわゆる留年者)を含む)。これら約53人の大学院進学率を上記立命館大学理系学部の大学院進学率から約45%とし、うち他大学大学院への進学を約10%と仮定すると、入学定員20人を充足するのは可能と考えた。

さらに、入学者の主な母体となる本学薬学部創薬科学科の在籍学生に向けて、入学希望等についてのアンケート調査を行ったところ、大学院への進学を希望する者(Q2の回答「ぜひとも入学したい」「合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい」の計)は全体の81.8%であり(資料6「立命館大学大学院薬学研究科薬科学専攻(仮称)修士課程に関するアンケート調査」p.6)、このことから入学定員を確実に充足できると見込んでいる。

なお、グローバル教養学部グローバル教養学科(入学定員100人)において定員超過率が0.7倍未満となっているが、同学部の入学定員は9月入学の募集人員を含むためであり(ただ

し学期ごとの入学定員は設けていない)、安定的な学生確保の見通しがあることから、定員設定は適切である(「立命館大学グローバル教養学部設置届出書」平成30年5月29日参照)。

イ 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

(1) 私立薬科大学(薬学部)の大学院進学状況

一般社団法人私立薬科大学協会による「平成29年度私立薬科大学(薬学部)卒業生進路調(4年制)」(資料1)より、薬学部4年制学科を有する私立大学の大学院平均進学率の試算を行った(資料2「薬学部4年制学科を有する私立大学の大学院進学状況」)。大学院進学率の平均は53.6%であるが、卒業生に対する進学率は4.1%~92.3%と大学ごとに大きく異なり、学生の進路に対する志向など個別の事情が影響しているものと考えられる。

また、同協会による「平成30年度私立薬科大学(薬学部)大学院入学志願者調」(資料3)から入学定員充足率および収容定員充足率を計算した(資料4「入学者数ベースおよび在籍者ベースの大学別定員充足率」)。入学定員充足率および収容定員充足率の平均はそれぞれ92.4%(充足率は0.0%~185.0%)、83.8%(同0.0%~195.0%)であるが、上記の進学率同様、大学間で大きなばらつきが見られた。

上記2つの結果から、大学ごとに個別の要素の影響が大きいため、他大学の定員充足率を参考値として採用することは困難であると判断した。

(2) 立命館大学理系学部の大学院進学状況

本学理系学部(理工学部、情報理工学部、生命科学部)での大学院修士課程進学率は、2017(平成29)年度実績で理工学部が50.4%、情報理工学部が39.3%、生命科学部が56.9%である(資料5「2017年度立命館大学理系学部の大学院進学状況」)。薬学部においては大学院に4年制博士課程のみを設置するため対象外とした)。3学部の大学院進学率の平均が48.7%である。

一方、大学院進学者のうち、所属学部を基礎とする大学院への学内進学率の平均は、91.2%(理工学部:91.4%、情報理工学部:96.3%、生命科学部:85.8%)、他大学大学院への進学率の平均は8.8%であり、本学においては、学部へ接続する大学院への進学率が高い状況にある(資料5「2017年度立命館大学理系学部の大学院進学状況」)。

前述の(1)の結果と合わせ、今次の定員設定においては、学部学生の入学状況が類似する本学理系学部の傾向を採用することとした。

(3) 本学薬学部創薬科学科在学学生を対象としたアンケート

定員充足の見込みを検討するにあたり、薬学研究科薬科学専攻修士課程の初年度入学者の主な母体となる本学薬学部創薬科学科3年次生44人を対象としたアンケート調査を

2018(平成 30)年 11 月下旬に実施した。実施にあたっては「立命館大学大学院薬学研究科薬科学専攻(仮称)修士課程について」において、①設置の理念と養成する人材像、②設置予定の専攻・学位の名称、③開設年度、④定員、⑤学費、⑥人材育成目的、⑦カリキュラム、⑧履修モデルを明示するとともに、補足資料を用いて担当教員より解説を行った。アンケート分析の結果は、以下のとおりである(資料 6 「立命館大学大学院薬学研究科薬科学専攻(仮称)修士課程に関するアンケート調査」、以下、「資料 6」。なお同資料で「3 回生」とあるのは「3 年次生」のことである)。

1) 学部卒業後の進路

2018(平成 30)年度に本学薬学部創薬科学科の 3 年次生(在 student 数 44 人)に行った学部卒業後の希望進路の上記アンケート調査では、大学院進学希望が圧倒的に多く、Q1 で「薬学研究科薬科学専攻(仮称)修士課程」に「興味がある」と回答した学生が 34 人(77.3%)、「すこし興味がある」が 3 人(6.8%)で、新設する専攻に関する期待や関心が高いことがうかがわれた(資料 6 p.3)。本学薬学部において低年次から大学院進学を意識付けを行っていることの効果があったものと思われる。また、志望理由についての質問 Q3(複数回答可)については、「創薬科学について学修・研究を深めたいから」(26 人、在 student 全体の 59.1%)と、「将来、研究者を目指しているから」(18 人、在 student 全体の 40.9%)が主な回答であり、大学院進学への高い意欲が見られた(資料 6 p.4)。本専攻修了後の希望進路を問う Q4 の回答(複数回答可)は、「高度な専門知識と研究力を活かし、製薬会社や化学メーカーの研究・開発部門で活躍を目指す」、「国家や自治団体の衛生行政部門や企業等の医療情報部門で活躍を目指す」、「博士後期課程にてさらに研究を進展させ、薬学部教員やアカデミアでの研究職を目指す」とする順に多く、それぞれ 30 人(68.2%)、4 人(9.1%)、2 人(4.5%)であり、自身のキャリアプランと重ねて大学院進学を考慮していることがわかった(資料 6 p.5)。

2) 入学希望

2018(平成 30)年度に本学薬学部創薬科学科の 3 年次生(在 student 数 44 人)に行った大学院進学に関するアンケート調査では、Q2 で本学薬学研究科薬科学専攻(仮称)修士課程への進学を強く希望する学生(「ぜひとも入学したい」)が 23 人(52.3%)であり、さらに 13 人(29.5%)が進学先の一つとして検討している(「合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい」と)との回答であった(資料 6 p.6)。前述のイ-(2)では、本学理系学部の 2017(平成 29)年度の学内進学状況をあげたが、他方で他大学への進学率の平均は 8.8%であるため、「合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい」と回答した者のうち、一定数は本学薬学研究科薬科学専攻修士課程に入学することも想定している。以上のことから、入学定員の 20 人を学内進学者で充足する見込みが十分にある。

2018(平成30)年11月のアンケート実施の際に、本学薬学研究科薬科学専攻(仮称)修士課程進学に関する説明会を開催し、ここでは3年次学生44人の出席があり、上記23人の進学意志を確認した。このほか、アドミッションポリシーと入試形態、入試実施時期の予定を周知する説明会に加え、薬学部の卒業研究室でも適宜、指導教員を通じて新設する専攻の情報を提供している。今後も、進学希望学生に向けてより詳細な情報を提供していくことにより、進学希望者が確実に本専攻を受験することにつながると考える。

(4) 理系学生と理系大学院学生を対象とした学外アンケート

株式会社NTTドコモのプレミアパネルサービスを利用し、本学薬学研究科薬科学専攻(仮称)修士課程に関するwebアンケートを、全国の学部3、4年次生および学部4年次生・大学院博士課程前期課程(修士課程)1年次生を対象として行った。同アンケートのうち、理系学生3、4年次生に対しての「あなたは、立命館大学の「薬学研究科修士課程」について、関心はありますか?」という質問Q2については、「興味がある」との回答が138人(理系の全回答者数1,156人の11.9%)、「すこし興味がある」が312人(27.0%)で、そのうち、Q3で「ぜひとも入学したい」、「合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい」とする回答が、それぞれ37人(3.2%)、125人(10.8%)であり、新設する専攻に対する高い関心を裏付ける結果がえられた(資料6 p.11、12)。

また、理系大学院1年次生とすでに進路が内定した理系学生4年次生に対しての「あなたは、立命館大学「薬学研究科薬科学専攻修士課程」に転入学したいと思いますか?」とする質問Q6(理系の全回答者数766人)には、23人(全回答者数の3.0%)から「ぜひとも入学したい」とする回答がえられた(資料6 p.22)。大学院転入学のメリットについては、Q4で「講義や研究を通じ、知識を広げることができる」(24.0%)、「興味や関心のある講義や研究にふれる事ができる」(23.4%)、「自身の研究活動をさらに発展できる」(20.3%)といった教育・研究上の発展を期待する声が多かった。「将来の進路選択の幅が広がる」(14.9%)、「就職に有利であると考え」(8.3%)とする卒業後のキャリアパスを意識した回答に加え、「博士後期課程への進学意欲促進につながる」(8.4%)と位置付ける回答が多いことが特徴である(資料6 p.20)。

なお、本アンケートの実施にあたっては、本学薬学部創薬科学科在学学生を対象としたアンケートと同様に、薬学研究科薬科学専攻(仮称)修士課程の①設置の理念と養成する人材像、②設置予定の専攻・学位の名称、③開設年度、④定員、⑤学費、⑥人材育成目的、⑦カリキュラム、⑧履修モデル、の案を明示している。

ウ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金については、入学定員が同規模の大学の薬学研究科薬科学専攻博士前期課

程の学生納付金、既設の4年制学科を基礎とする私立大学薬系大学院の学生納付金、さらに本学大学院他研究科の学生納付金を参照した(資料7「入学定員が同規模の大学の薬学研究科博士課程前期課程の学費・立命館大学理系大学院の学費」)。また、学内での学生納付金決定の方法も勘案しながら、上記資料7下表の本専攻の入学金、学生納付金を設定した。立命館大学大学院の学生納付金は、研究科ごとに差があるものの、薬学研究科薬科学専攻は現在の他研究科の学生納付金と同水準の設定となっている。

②学生確保に向けた具体的な取組状況

ア 2018(平成30)年度までの取組

薬学研究科薬科学専攻修士課程の設置構想を行う過程で、学生が一堂に会する機会を利用して、適宜、進路ガイダンスを行った。大学院進学的重要性、就職との関係性など基礎的な情報に加え、立命館大学内の他研究科の事例などを引用しながら、教育内容・学費の目安・入試の仕組みの説明を行った。2018(平成30)年11月の説明会には3年次の在学生44人全員が出席し、説明会時の調査で、出席者の52.3%にのぼる23人が本学薬学研究科薬科学専攻修士課程の受験・入学を強く希望していることを確認した。学生が進路について保護者等と本格的に相談すると想定される時期に説明会を開催することが重要と考え、3月の後期成績発表ガイダンス時に上記学内進学者向けに、カリキュラム、研究分野をはじめとするより詳細な情報をもととした進学希望者向け説明会を行った。

また、継続的な学生確保の観点から、学部パンフレット・ホームページにも学部卒業後に大学院へ進学するイメージを喚起できるよう学びのフロー図などに大学院項目を追加すべく準備を行った。

なお、各種広報活動に関しては、「設置構想中」である旨を必ず明示しており、内容は予定であり変更する可能性について、周知を徹底した広報を行っている。

イ 2019(平成31)年度における取組予定

2018(平成30)年度までの広報活動と同様に、学内関係部署の密接な連携のもとに組織的な広報活動に取り組む。また、薬学研究科薬科学専攻修士課程の設置認可後には、学外からの学生募集とともに社会的認知を向上させるためにも、人材育成目的、研究内容やカリキュラム等についての広報活動を実施する。

具体的にはホームページを中心に情報提供を行うとともに、リーフレットやポスターを作成し、薬学・化学関連の学部を持つ大学へ送付を行う。

また、継続的な定員充足の観点からも、学部生募集の時点からの周知も重要であると考えられるため、高等学校の進路指導室への訪問や、オープンキャンパス、入試相談会等で学部受験生へ直接説明を行う。また、附属校と連携した研究室訪問(体験)等の取組においても、「薬を

生み出す創薬研究者」となるためには、修士課程での研究や学修が不可欠であることを伝えてゆく。

あわせて、大学院案内パンフレットや大学の入試サイトへの掲載、ホームページのさらなる充実も図る。

(2)人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

「設置の趣旨等を記載した書類」でも述べたとおり、2006(平成 18)年 4 月に学校教育法、薬剤師法が改正され、日本の薬学教育は、「医療現場で活躍する薬剤師」を養成する 6 年制学士課程と、薬学基礎系として従来からの「薬を生み出す創薬研究者」を養成する 4 年制学士課程の 2 つの薬学教育課程に再編された。両者においては、この再編に至った経緯からその人材育成目標が大きく異なり、4 年制課程は、医薬品の創製、開発、生産、さらには食品・化粧品、環境や衛生分野などの薬学関連領域での研究及び教育に従事する人材養成を目指すのに対し、6 年制課程では、薬物の適正使用に求められる知識・技能の習得とその進歩を担う薬剤師、さらには医療薬学分野の研究者の養成が目的とされた。

この再編がなされて以来、医療人としての薬剤師の質的向上とその地位の向上を目指した 6 年制学士課程が着実に成果をあげる一方で、当初は予想されていなかった問題も生じてきた。すなわち、2006(平成 18)年の新課程の開始にあたり、全国の私立大学薬学部・薬科大学が一斉に 6 年生課程にかじを切った結果、4 年制と 6 年制の学生定員に大きな偏りが生じ、明治以来日本の薬学教育システムが担ってきた「薬を生み出す創薬研究者」の育成という今一つの重要な役割を果たすことが困難になってきたのである。

このような状況を受け、本学では、2008(平成 20)年に開設した 6 年制学士課程に加え、2015(平成 27)年に 4 年制学士課程である創薬科学科を設置した。本学科においては、「薬を中心に据えた」人の健康に関わる自然科学を基盤とし、医薬品の創製と分析、環境因子と人体への影響、疾病と薬物治療など多方面にわたる「学際的な薬学」の専門知識と技術の習得を通じ、医薬品創製の分野で社会に貢献できる人材育成を目指し、教育を行ってきた。

しかしながら、「薬を生み出す創薬研究者」として医薬品創製の分野で社会に貢献するためには、学部レベルの専門知識・技術では十分ではなく、さらに大学院レベルでの教育を受け、問題発見・解決能力、論理的思考能力を鍛える必要がある。

そこで、本学では 4 年制学士課程である創薬科学科に接続する大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程を設置することとした。本専攻では、幅広い薬科学研究分野を対象とし、専攻内に薬品分子創製化学、生体分子解析学、薬物動態解析学、生体機能薬学、薬物作用解析学の 5 つの分野を設定して専門分野に応じた基盤的な知識及び先端的な研究技術が取得できる教育体制とした。薬品分子創製化学分野は有機化学、天然物化学を、生体分子解析学分野は物理

化学、分析化学、衛生化学を、薬物動態解析学分野は薬剤学、製剤学、安全性評価学を、生体機能薬学分野は生化学、衛生化学を、薬物作用解析学分野は薬理学、有効性評価学を基盤とする。

これらの研究分野を履修する学生が、修了時点において学生が身につけるべき能力(教育目標)として以下に示す教育目標を定めた。

<教育目標>

- 薬学および生命科学領域の知識を基礎として、医薬品等の創製を中心とした薬科学の専門知識を有する。
- 高い倫理観を持って医薬品等の研究開発や教育研究、衛生行政に貢献できるような、問題発見・解決能力、論理的思考能力を有する。
- 日本語で論理的な学術論文の作成やプレゼンテーションができる。
- 国際社会で活躍するために、薬科学分野の専門知識を用いた英語での基本的なコミュニケーションができる。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

近年、創薬研究の需要はますます増大する一方であり、日本再興戦略(平成 25 年 6 月閣議決定)において、医療関連産業は、日本が国際的に強みを持ち、グローバル市場での成長が期待できる戦略分野と認知されたのに引き続き、2015(平成 27)年 6 月に厚生労働省より出された国際薬事規制調和戦略においても、日本の強みを生かした医薬品開発環境の整備やレギュラトリーサイエンスの更なる環境整備を通じて、国際社会の保健衛生向上への一層の貢献が訴えられている。

先に述べたこととも重なるが、他大学 4 年制課程卒業生の進路状況(資料 8 「一般社団法人薬学教育協議会 平成 30 年 3 月薬系大学卒業生・大学院修了者就職動向調査の集計報告」第 7 表)を見てみると、平成 29 年 3 月時点の私立大学薬学部・薬科大学 4 年制学士課程卒業生 1,458 人中 320 人(21.9%)が就職するが、そのうち医薬品関連企業の研究、試験、製造部門に就職できた学生は 33 人であり(同第 8 表)、就職者の 10.3%に過ぎない。これとは対照的に、同調査が発表した修士課程修了後の進路概況によると(同第 16 表)、私立大学同課程修了者 265 人はその 84.5%が就職し、医薬品関連企業の研究・開発部門へは 93 人(41.5%)、関連の化学・食品等企業研究部門を合わせると、希望の研究・開発部門に就職を果たした学生 136 人は就職者合計 224 人の 60.7%に達し、医薬品関連企業の研究・開発部門への就職には修士レベルの専門知識と技術の習得が不可欠であることがわかる。

また他方で、これら大多数の修士課程修了者が目指す医薬品関連企業には、元来大阪発祥の企業が多いことが知られ、現在も武田薬品工業株式会社、大日本住友製薬株式会社、塩野

義製薬株式会社、小野薬品工業株式会社などの国内大手企業に加え、アストラゼネカ株式会社、バイエル薬品株式会社などの外資系企業が大阪市に本社をおく。また本社の立地と物流の関係から、大阪府や滋賀県を中心とする近畿圏に研究所や工場を持つ企業が多くを占め、他業種に比べ京滋、阪神を拠点として事業展開する企業の割合が多い(資料9「医薬品企業売上高トップ20社の本社・研究所・工場の所在地」)。

興味深いことに、これら医薬品関連企業に創薬人材を供給する立場にある薬学系の修士課程は56私立大学薬学部・薬科大学のうち21大学に設置されているに過ぎず、しかもその総入学定員389人のうち5大学の5研究科を合わせて75人(19.3%)が西日本にあるのみで、東日本地域における偏在が著しい(資料10「文部科学省 薬学系大学院専攻別一覧(平成30年度)」)。このような状況下、滋賀県唯一の薬学部を擁する本学が、「薬科学の専門知識および研究力を備え、研究機関、教育機関、産業界、衛生行政等に貢献できる人材を育成すること」を人材育成目的とする薬学研究科薬科学専攻修士課程を設置することは、この創薬人材の地域的偏在性改善に有効であるばかりか、関西を主たる基盤の一つとする医療関連産業に対し恒常的に質の高い人材の供給を可能にすることから、現今の創薬人材の払底に対する社会的要請に応え、日本再興に貢献する観点からも意義深いと考える。

■ 製薬関連企業へのアンケート結果

上述のような社会的、地域的な人材需要について、より具体的な分析を行うため、学生の主な就職先となると考えられる製薬関連企業へアンケート調査(2017(平成29)年12月)を行った。対象とした企業は、滋賀県薬業協会会員企業27社、大阪医薬品協会会員企業298社、日本製薬工業協会会員企業50社の計375社であり、回答は無記名とした。回答数は119社、回答率は31.7%であった(資料11「立命館大学大学院薬学研究科薬科学専攻(仮称)修士課程についてのアンケート結果(医薬品関連企業人事ご担当者向け)」)。

(1) 修士課程修了者の企業需要・評価

薬学系修士課程修了者の人材需要に関して、「薬学系の修士課程を修了した人材は御社にとって必要ですか?」、「薬学系の修士課程を修了した人材が増えることは望ましいと思えますか?」という質問を行った。前者に関しては、「そう思う」(59.0%)と「ややそう思う」(21.4%)をあわせて80.4%、後者についても「そう思う」(42.4%)と「ややそう思う」(28.8%)をあわせて71.2%と、修士課程修了者の需要が高いことがあらためて確認された。

採用後の社内での評価について「御社において、薬学系の修士課程を修了していることは強みになりますか?」という質問で確認を行ったところ、「そう思う」(53.4%)と「ややそう思う」(28.0%)をあわせて81.4%であり、修士課程を修了し研究力を備えた者の評価が高いことがわかった。

また、薬学系の修士課程修了者が強みとなる分野については、割合が高いものから順に開発職(32.6%)、研究職(27.5%)、学術職(17.0%)、医薬情報担当者(16.1%)の順となり、一般社団法人薬学教育協議会による「平成30年3月薬系大学卒業生・大学院修了者就職動向調査の集計報告」(前掲資料8)の結果と一致していると言える。

(2) 薬学研究科薬科学専攻修士課程に対する評価・採用希望

構想中の薬学研究科薬科学専攻修士課程の企業からの評価について調査を行った。「修了後の進路がイメージしやすい。」という質問では、「そう思う」(28.2%)と「ややそう思う」(40.2%)をあわせて68.4%、「将来性がある。」という質問では、「そう思う」(30.5%)と「ややそう思う」(44.1%)をあわせて74.6%であった。「輩出する人材(修了後)は、これからの社会において需要が高い」という質問では、「そう思う」(36.8%)と「ややそう思う」(39.3%)をあわせて76.1%、「就職に有利である。」という質問では、「そう思う」(26.5%)と「ややそう思う」(38.5%)をあわせて65.0%であった。

また修了生の採用希望についての質問では、「採用したい」(33.1%)・「採用を検討したい」(38.1%)をあわせて71.2%であった。

以上のことから、いずれの質問についても高い評価を得ることができ、本学薬学研究科薬科学専攻修士課程の人材育成目的に沿って育成した人材について、需要があることは明らかである。

資料目次

| | | | |
|-------|---------------------------------------------------------|-----|------|
| 資料1: | 一般社団法人私立薬科大学協会 平成29年度私立薬科大学(薬学部) 卒業生進路調(4年制) | ・・・ | p.1 |
| 資料2: | 薬学部4年制学科を有する私立大学の大学院進学状況 | ・・・ | p.3 |
| 資料3: | 一般社団法人私立薬科大学協会 平成30年度 私立薬科大学(薬学部) 大学院入学志願者調 | ・・・ | p.5 |
| 資料4: | 入学者数ベースおよび在籍者ベースの大学別定員充足率 | ・・・ | p.7 |
| 資料5: | 2017年度立命館大学理系学部の大学院進学状況 | ・・・ | p.9 |
| 資料6: | 立命館大学大学院薬学研究科薬科学専攻(仮称)修士課程に関するアンケート調査 | ・・・ | p.11 |
| 資料7: | 入学定員が同規模の大学の薬学研究科博士課程前期課程の学費・立命館大学理系大学院の学費 | ・・・ | p.41 |
| 資料8: | 一般社団法人薬学教育協議会 平成30年3月薬系大学卒業生・大学院修了者就職動向調査の集計報告 | ・・・ | p.43 |
| 資料9: | 医薬品企業売上高トップ20社の本社・研究所・工場の所在地 | ・・・ | p.47 |
| 資料10: | 文部科学省 薬学系大学院専攻別一覧(平成30年度) | ・・・ | p.49 |
| 資料11: | 立命館大学大学院薬学研究科薬科学専攻(仮称)修士課程についてのアンケート結果(医薬品関連企業人事ご担当者向け) | ・・・ | p.51 |

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」資料1

一般社団法人私立薬科大学協会 平成29年度私立薬科大学（薬学部）卒業生進路
調（4年制）（1ページ）

2. 出典

一般社団法人私立薬科大学協会

3. 引用元

「日本私立薬科大学協会だより」第92号 平成30年11月 96-97ページ

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」資料2

薬学部4年制学科を有する私立大学の大学院進学状況（3ページ）

2. 出典

一般社団法人私立薬科大学協会

3. 引用元

「日本私立薬科大学協会だより」第92号 平成30年11月 96-97ページ

4. 説明

著作物を抜粋し、進学率を集計した。また、学部卒業生数が本学と同規模の大学は「*」を付した。

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」資料3

一般社団法人私立薬科大学協会 平成30年度 私立薬科大学（薬学部）大学院
入学志願者調（5ページ）

2. 出典

一般社団法人私立薬科大学協会

3. 引用元

「日本私立薬科大学協会だより」第92号 平成30年11月 86-87ページ

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」資料4

入学者数ベースおよび在籍者ベースの大学別定員充足率（7ページ）

2. 出典

一般社団法人私立薬科大学協会

3. 引用元

「日本私立薬科大学協会だより」第92号 平成30年11月 86-87ページ

4. 説明

著作物を抜粋し、定員充足率を集計した。また、学部卒業生数が本学と同規模の大学は「*」を付した。

2017年度立命館大学理系部の大学院進学状況

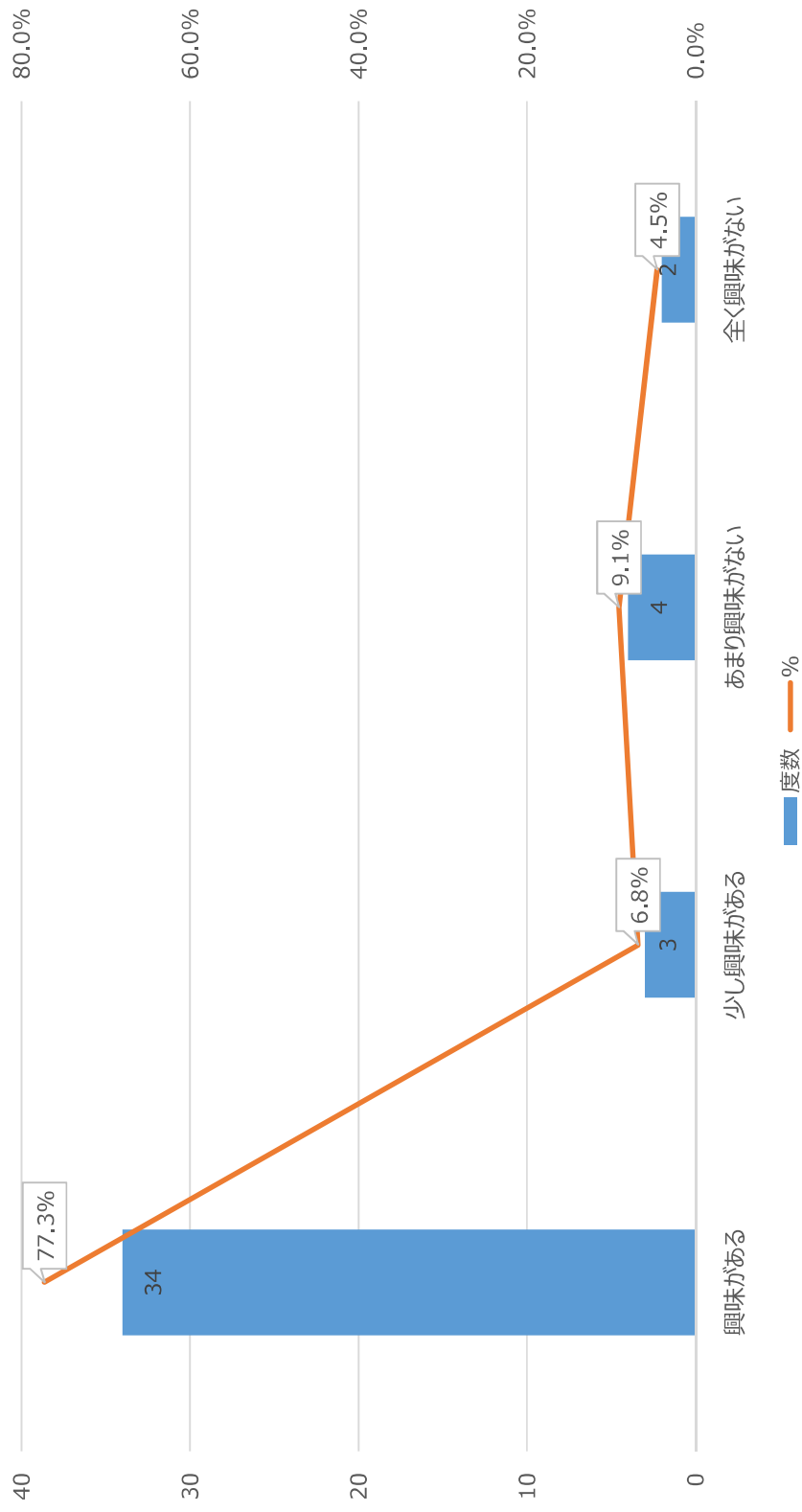
| 学部名 | 卒業者数 | 大学院進学者数 | 大学院進学率 | 進学区分 | 区分ごとの進学者数 | 進学率 |
|--------|------|---------|--------|---------------|-----------|----------------|
| 理工学部 | 849 | 428 | 50.4% | 学内進学 他大学進学 | 391 37 | 91.4% 8.6% |
| 情報理工学部 | 415 | 163 | 39.3% | 学内進学 他大学進学 | 157 6 | 96.3% 3.7% |
| 生命科学部 | 297 | 169 | 56.9% | 学内進学 他大学進学 | 145 24 | 85.8% 14.2% |
| 平均 | | | 48.7% | | | |
| | | | | | 学内進学: | 91.2% |
| | | | | | 他大学進学: | 8.8% |

立命館大学大学院薬学研究科
薬科学専攻（仮称）修士課程
に関するアンケート調査

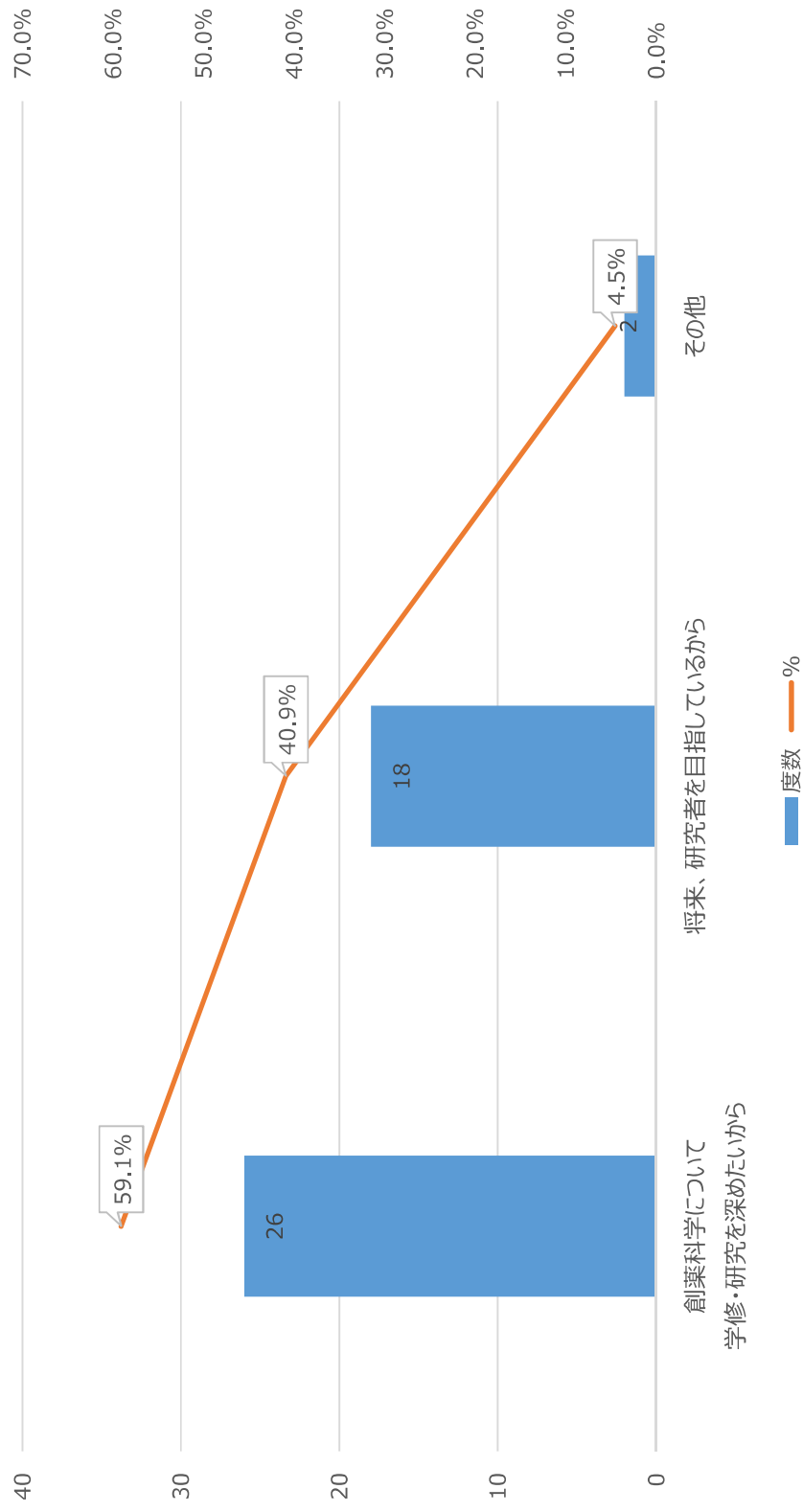
2018年11月

立命館大学薬学部創薬科学科
3年次アンケート調査

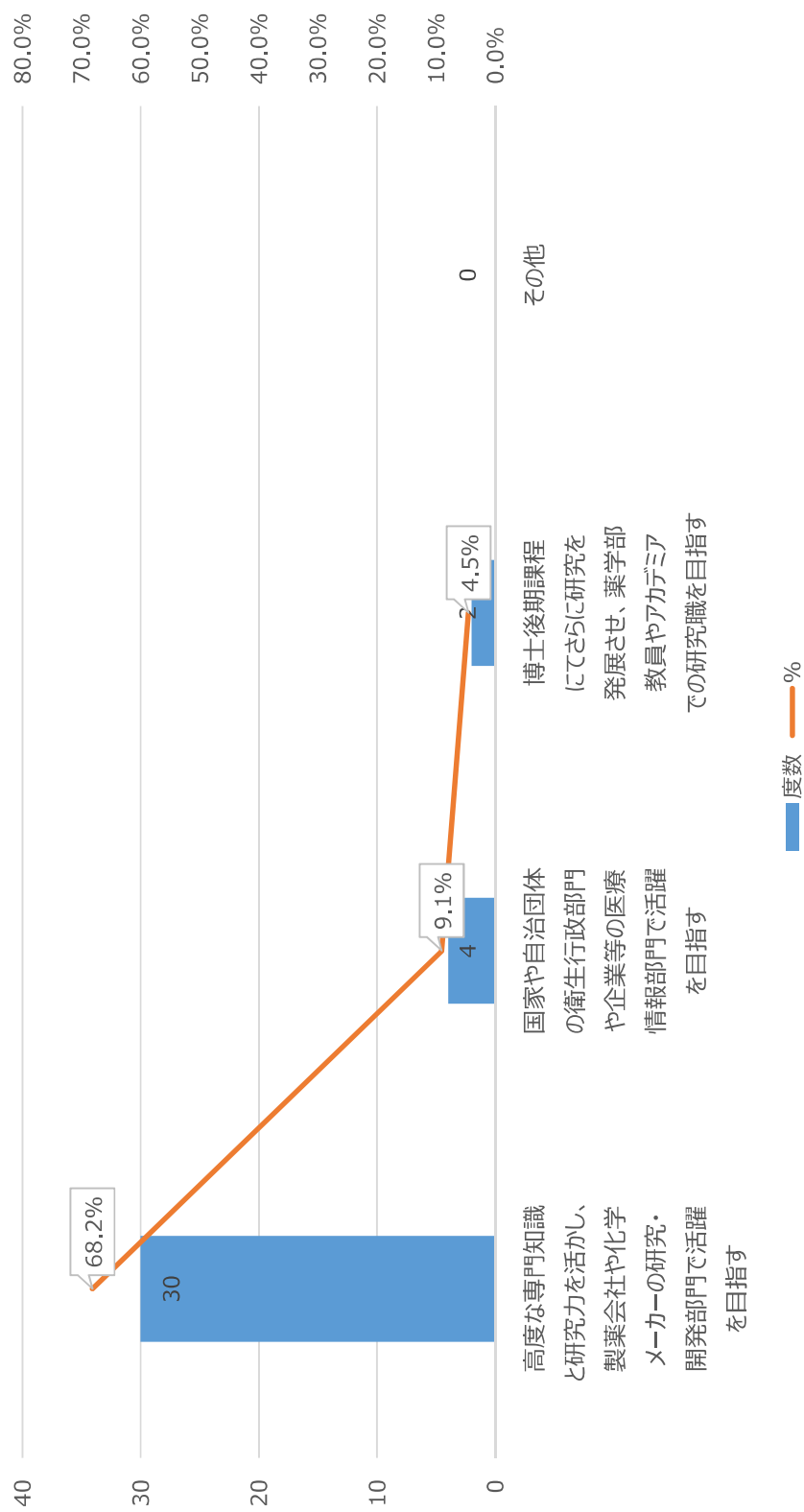
Q1. あなたは、立命館大学の「薬学研究科修士課程」について、関心はありますか？



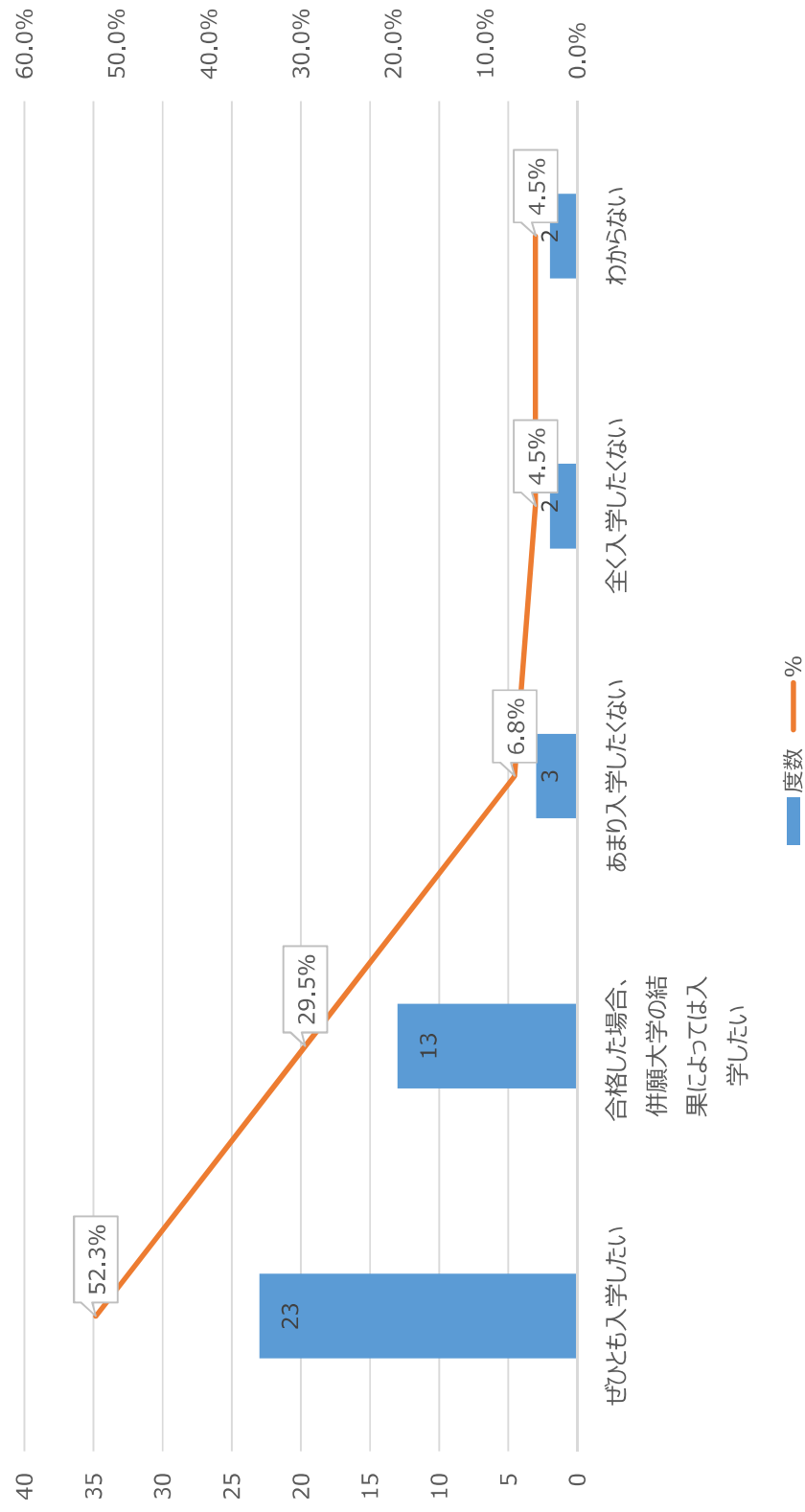
Q3. 薬学研究科薬科学専攻修士課程に入学したい理由についてお答えください。(複数選択可)



Q4. あなたが薬学研究科薬科学専攻修士課程に入学した場合、希望の進路をお答えください。



Q2. 立命館大学「薬学研究科薬科学専攻修士課程」に入学したいと思いますか？



プレミアパネル 実施レポート

- タイトル：大学院の新設学科に関するアンケート【外部入学】
- 実施期間：2018年11月5日～2018年12月5日
- 調査媒体：dポイントクラブ>dポイントクラブアンケート（NTTドコモ）
- 回答方法：スマートフォン（spモード端末）

- 配信対象
- 性別：男女
- 居住地域：全国
- その他条件：大学3年生・4年生
- 後付けセグメント：性別/年代（5歳刻み）/県/地区/学年

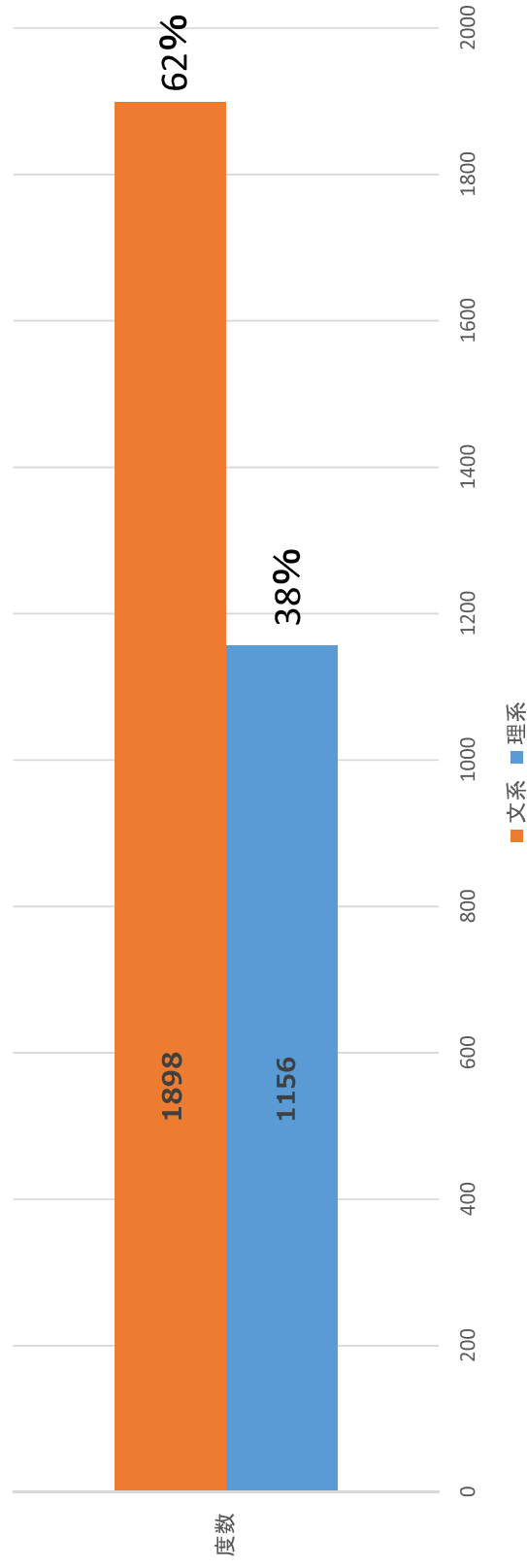
- 回収目標：1,700件
- 回収実績：3,054件
- リンク率：全体/11.2%（クリック数：343件/回収数：3,054件）

※プレミアムパネルの平均クリック率が10%前後

[Q1] Q1 あなたの専門は、理系と文系のどちらですか？（回答は1つ）

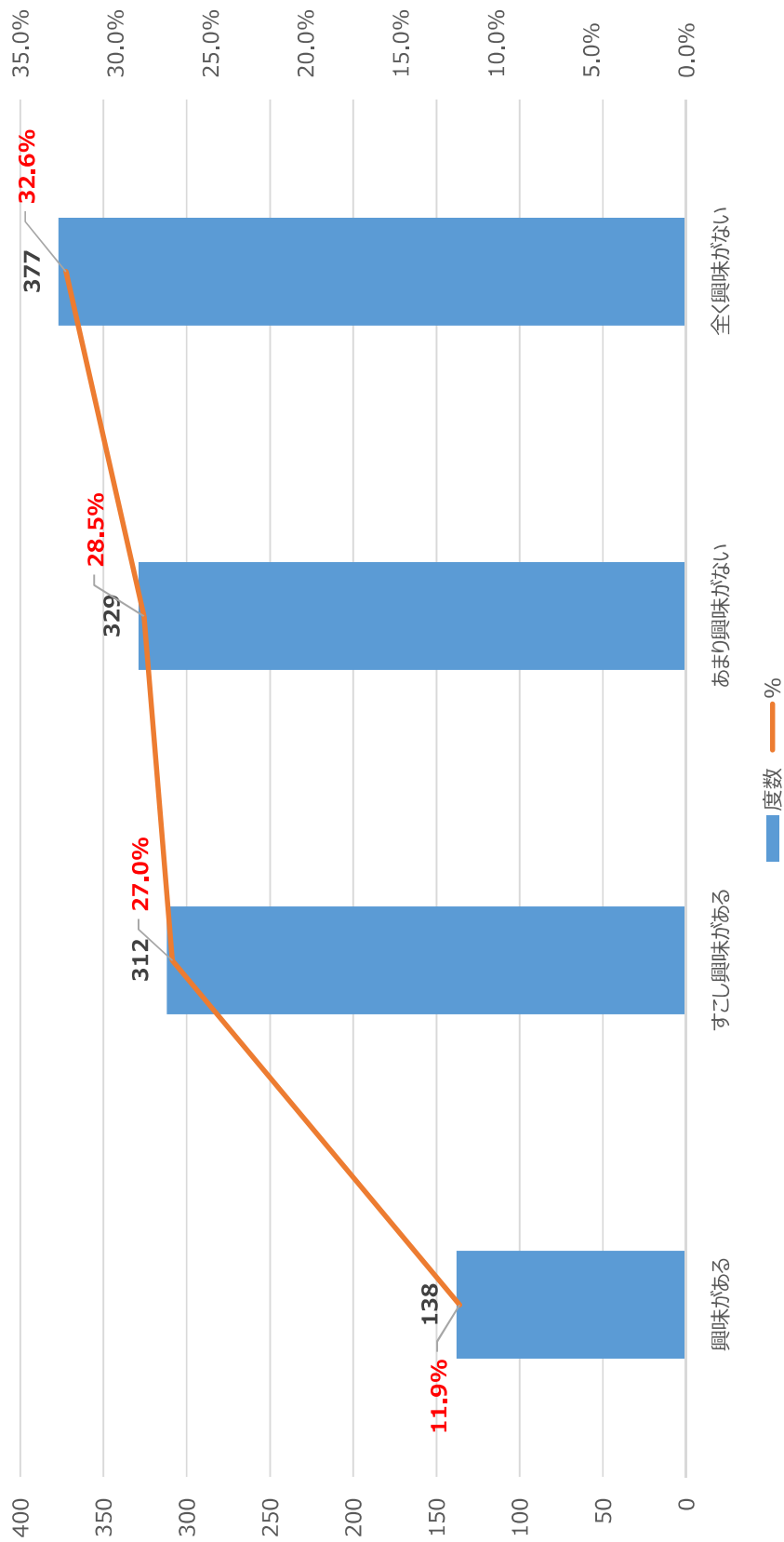
| | 度数 | % |
|-------|------|-------|
| TOTAL | 3054 | 100.0 |
| 理系 | 1156 | 37.9 |
| 文系 | 1898 | 62.1 |

文系・理系の割合



理系

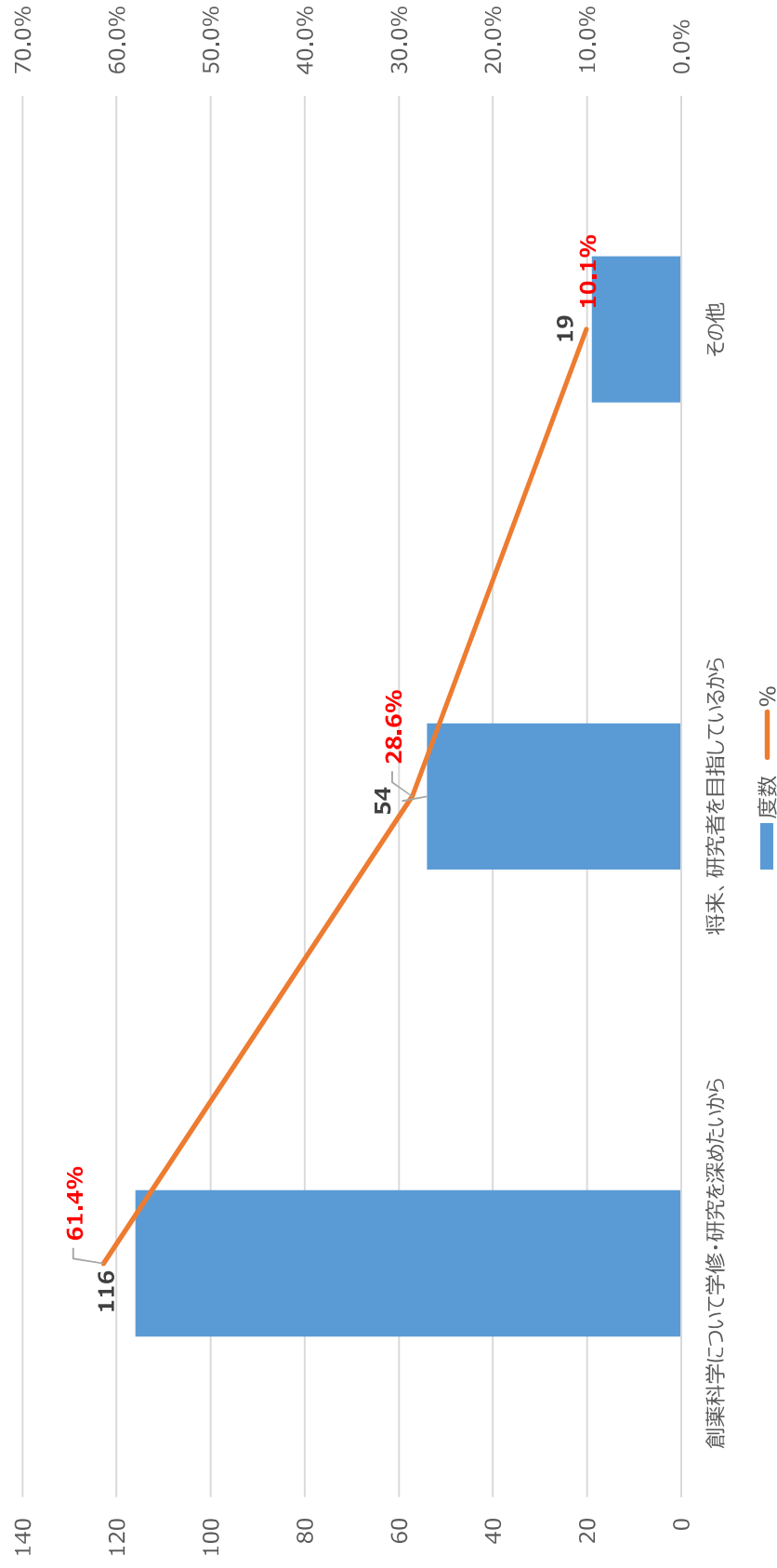
[Q2] Q2 立命館大学では、2020年4月に「大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程」を立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)に設置すべく準備を進めております。本専攻は「薬を生み出す創薬研究者」の育成を目的としており、医薬品等の創製を中心とする学際的な薬科学の専門知識と研究力を備え、教育機関、研究機関、産業界、衛生行政などで貢献できる人材を育成します。あなたは、立命館大学の「薬学研究科修士課程」について、関心はありますか？
(回答は1つ)



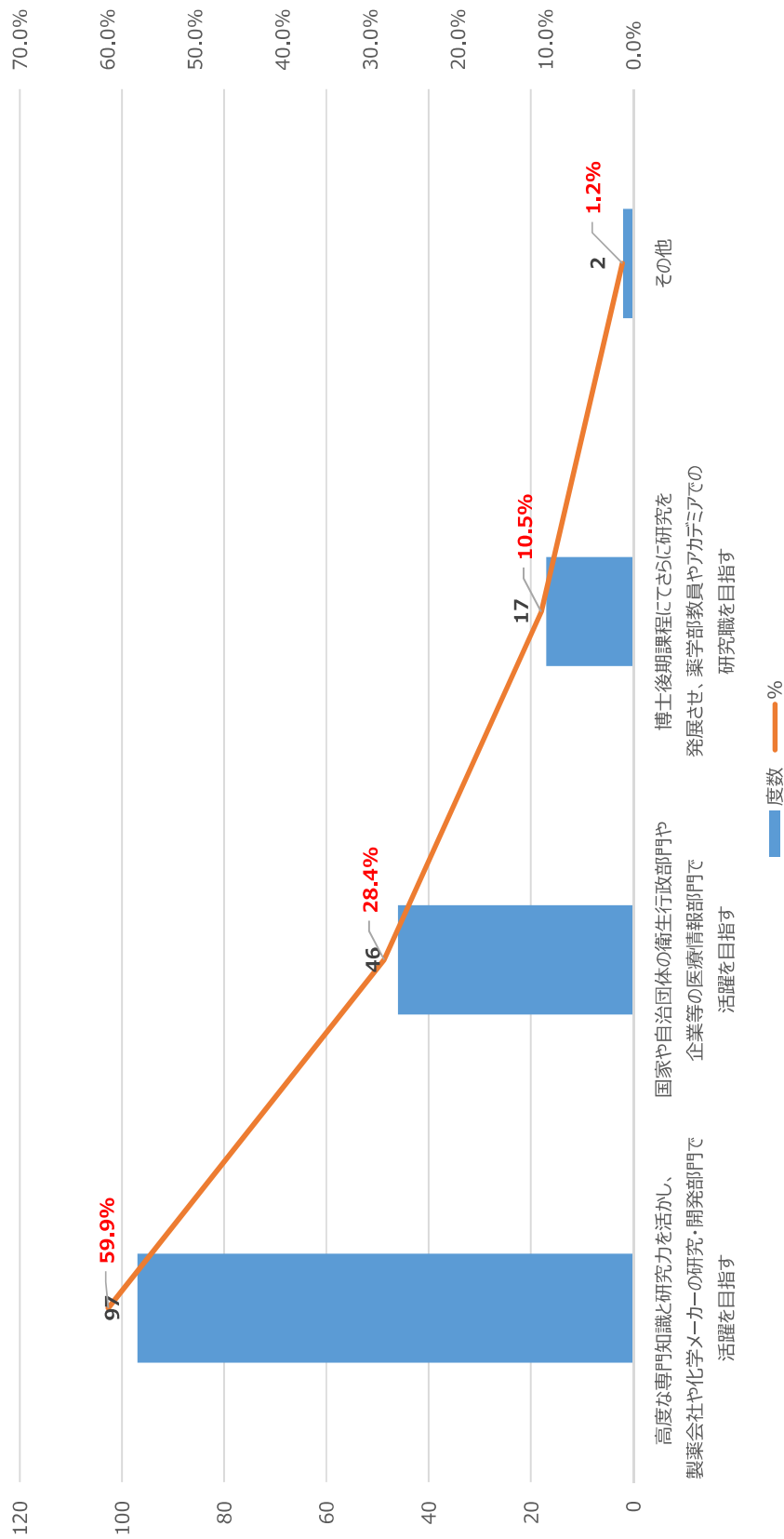
**[Q3] Q3 立命館大学「薬学研究科薬科学専攻修士課程」に入学したいと思いませんか？
(回答は1つ)**



[Q4] Q4 薬学研究科薬科学専攻修士課程に入学したい理由についてお答えください。
(回答はいくつでも)



**[Q5] Q5 あなたが薬学研究科薬科学専攻修士課程に入学した場合、希望の進路をお答えください。
(回答は1つ)**



- **タイトル** : 大学院の新設学科に関するアンケート【転入学】
- **実施期間** : 2018年11月5日～2018年12月5日
- **調査媒体** : dポイントクラブ> dポイントクラブアンケート (NTTドコモ)
- **回答方法** : スマートフォン (spモード端末)

- **配信対象**
- 性別 : 男女
- 居住地域 : 全国
- その他条件 : 大学4年生・大学院1年生
- 後付けセグメント : 性別/年代 (5歳刻み) / 県/地区/学年

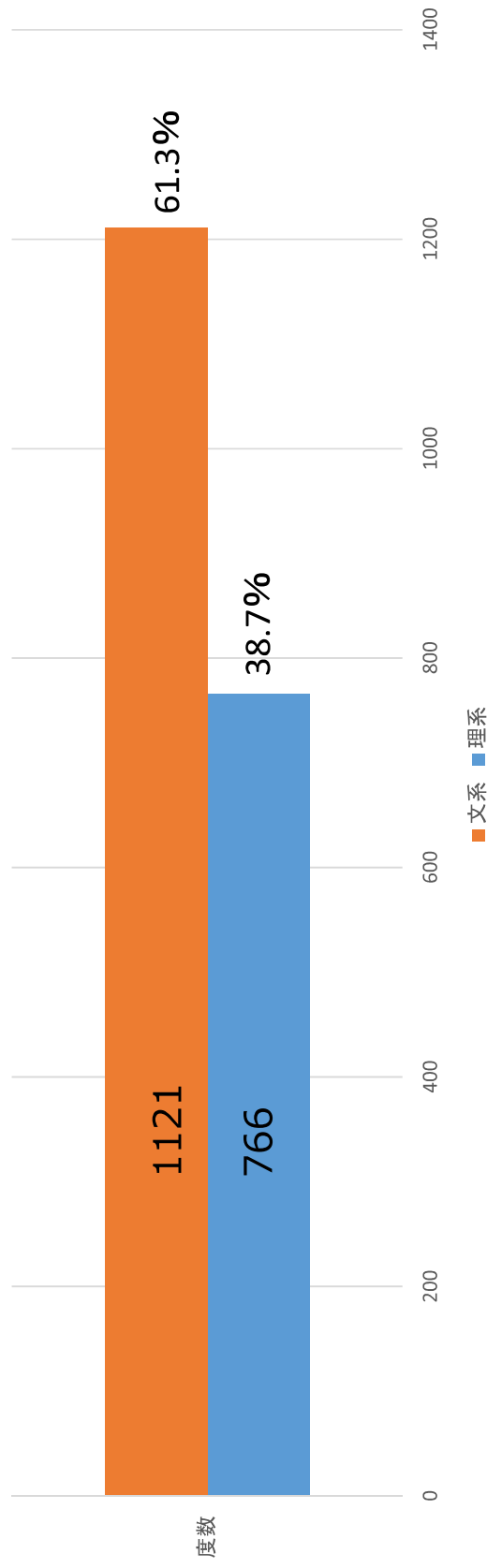
- **回収目標** : 1,000件
- **回収実績** : 1,977件
- **リンク率** : 全体/10.2% (クリック数 : 201件/回収数 : 1,977件)

※プレミアムパネルの平均クリック率が10%前後

[Q1] Q1 あなたの専門は、理系と文系のどちらですか？（回答は1つ）

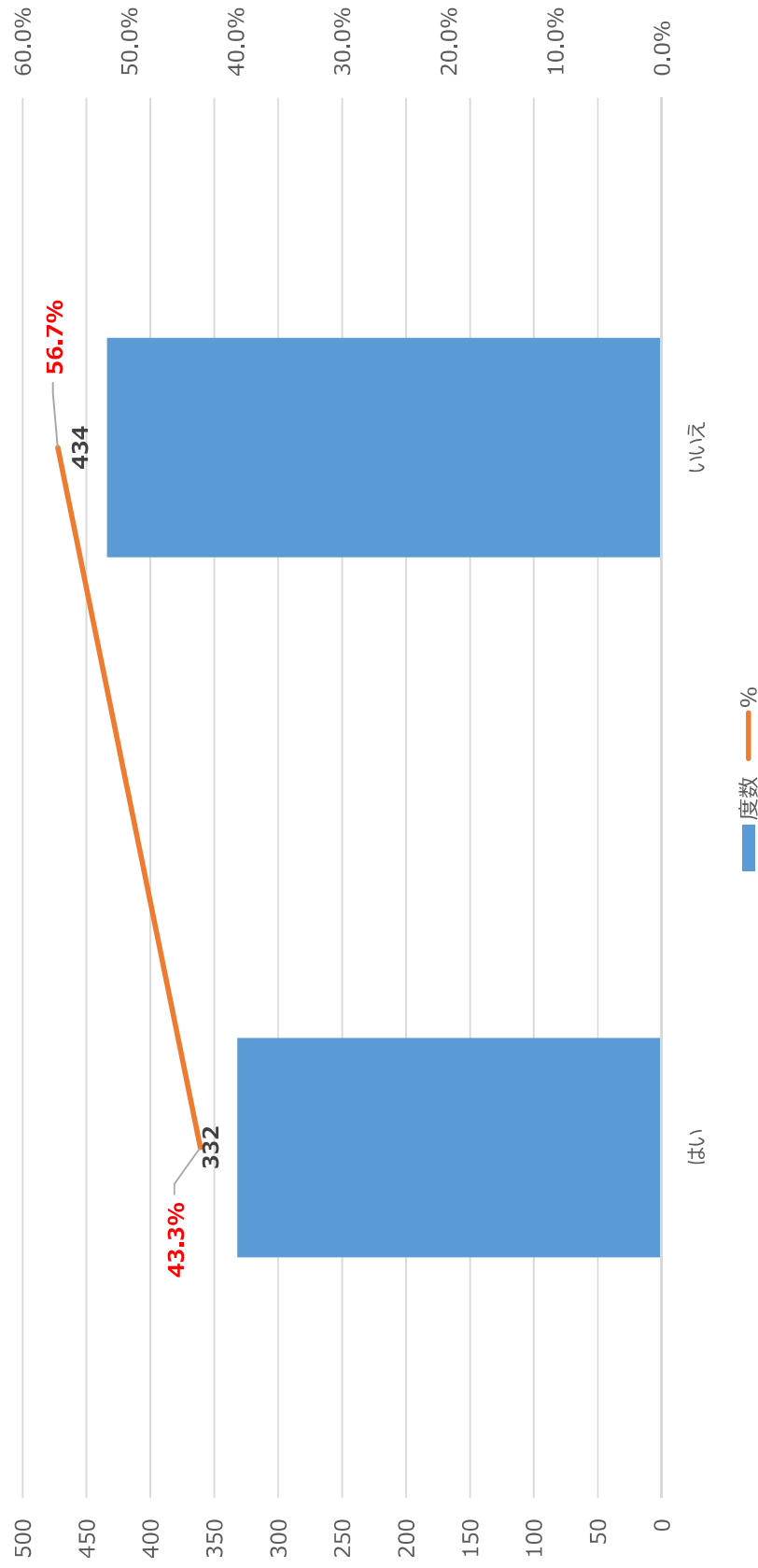
| | 度数 | % |
|-------|------|-------|
| TOTAL | 1977 | 100.0 |
| 理系 | 766 | 38.7 |
| 文系 | 1211 | 61.3 |

文系・理系の割合

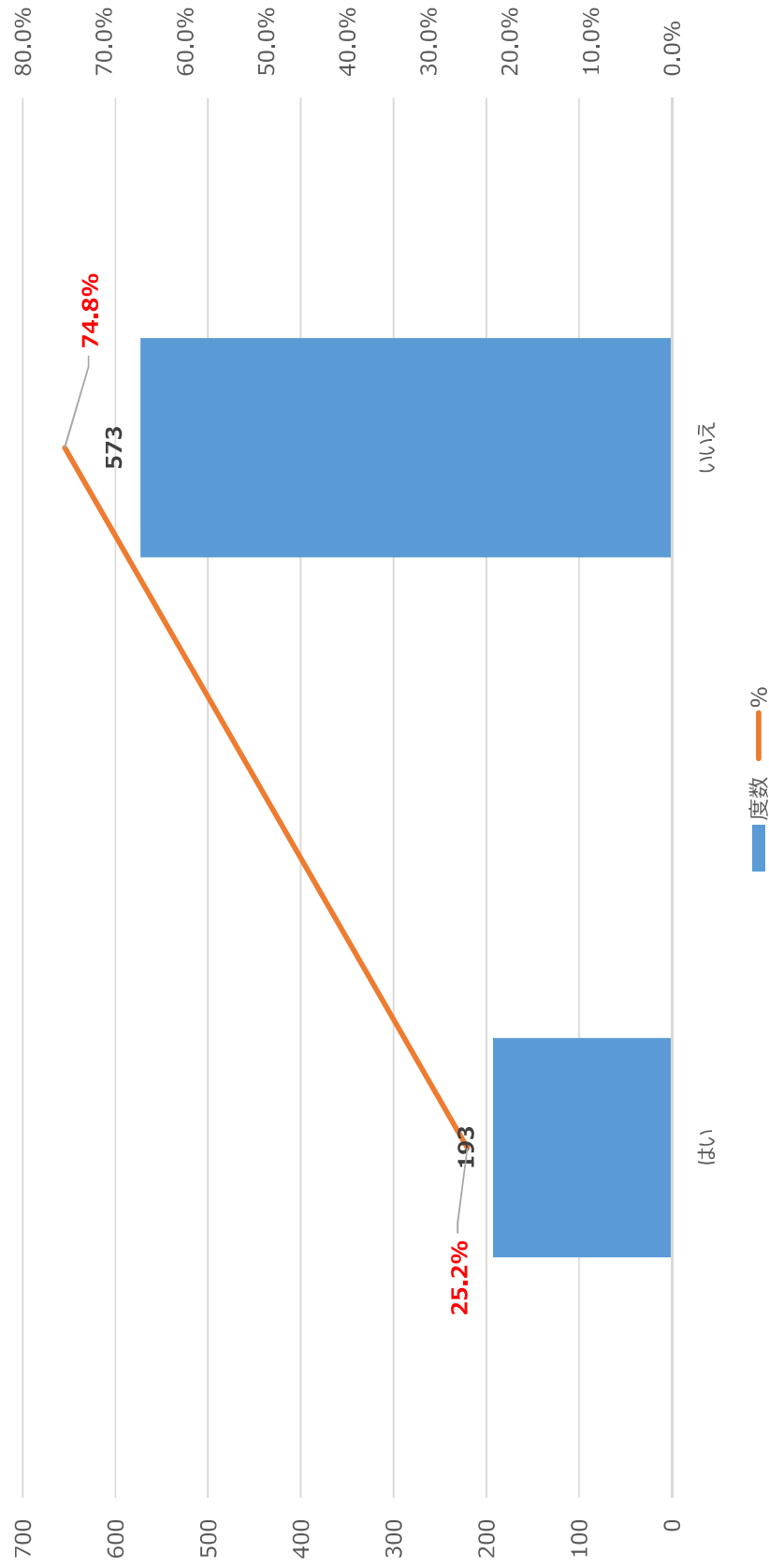


理系

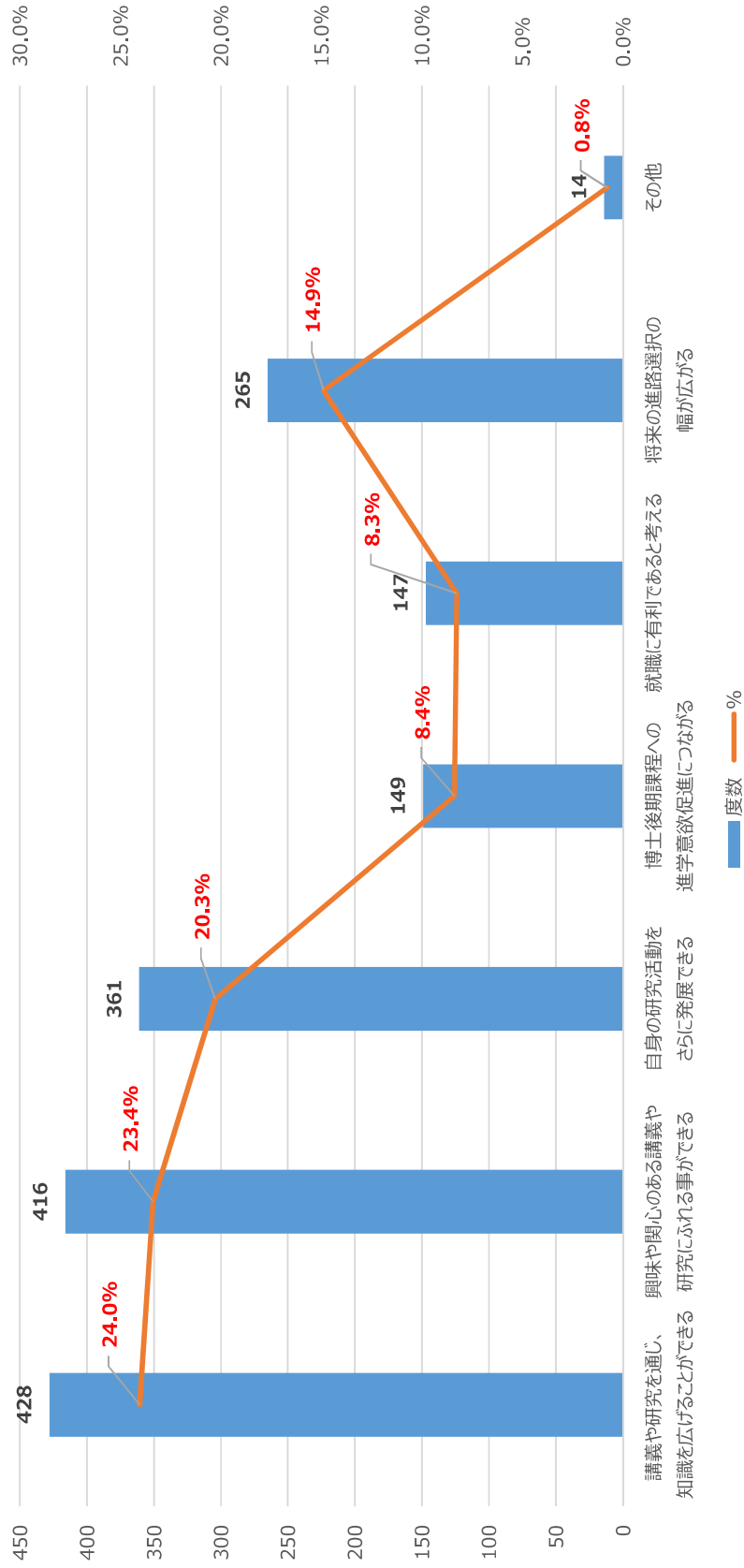
[Q2] Q2 大学院での転入学制度について、ご存知ですか？（回答は1つ）



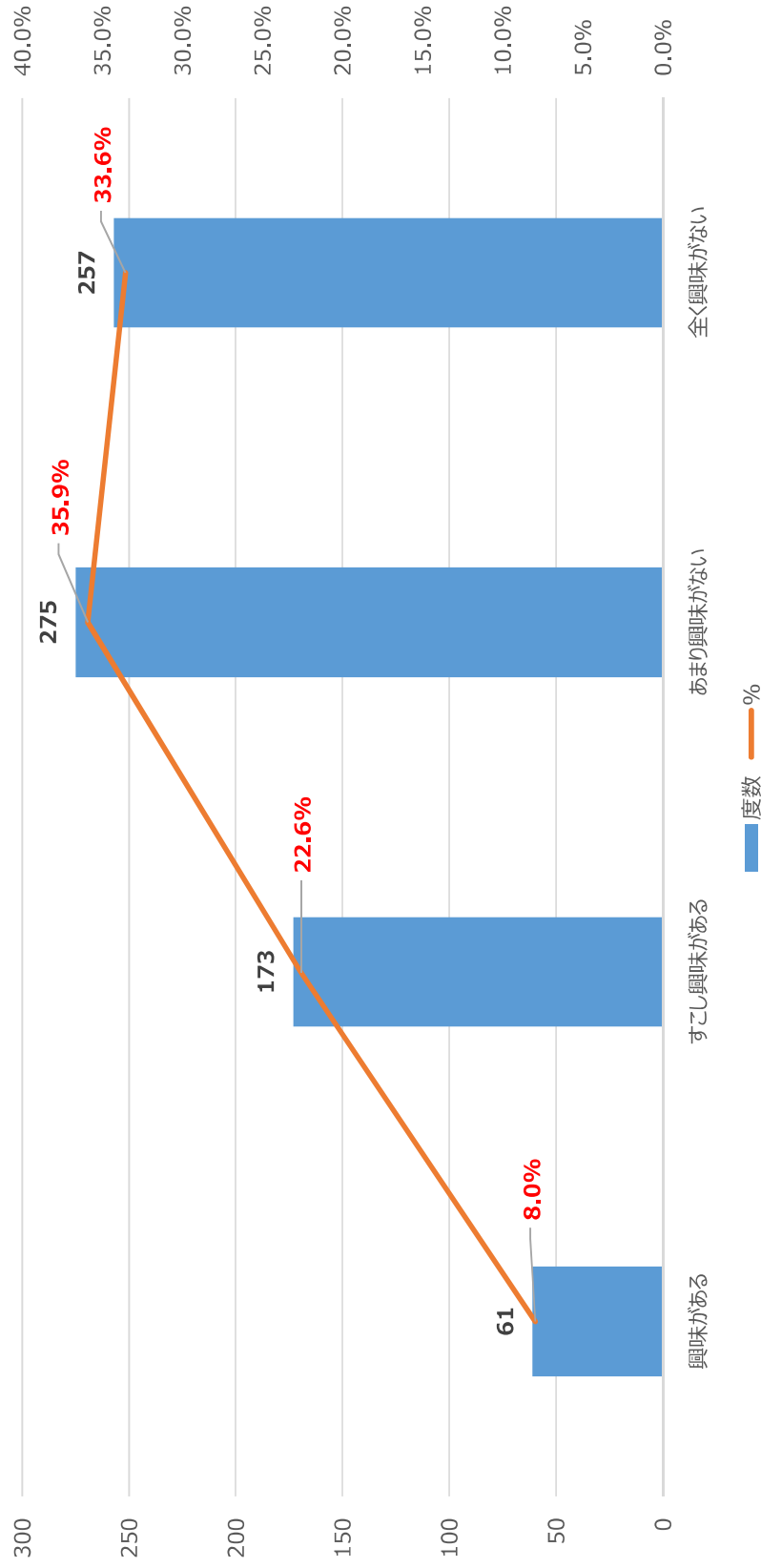
[Q3] Q3 大学院修士課程における2年次転入学について、興味はありますか？
 (回答は1つ)



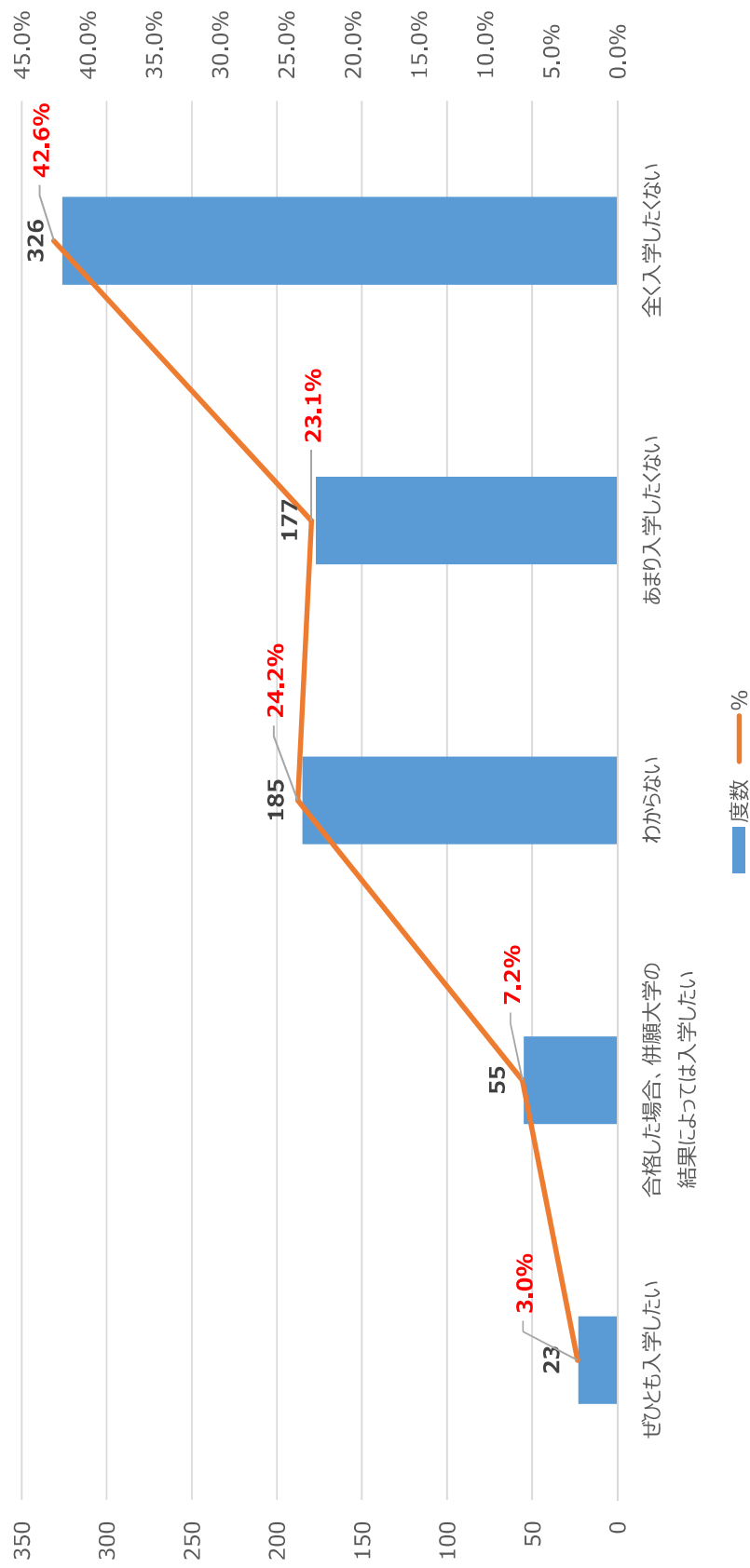
**【Q4】Q4 大学院修士課程における転入学のメリットについて、当てはまるところを選んでください。
(回答はいくつでも)**



[Q5] Q5 立命館大学では、2020年4月に「大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程」を立命館大学びわこ・さつキャンパス(BKC)に設置すべく準備を進めております。本専攻は「薬を生み出す創薬研究者」の育成を目的としており、医薬品等の創製を中心とする学際的な薬科学の専門知識と研究力を備え、教育機関、研究機関、産業界、衛生行政などで貢献できる人材を育成します。あなたは、立命館大学の「薬学研究科修士課程」について、関心はありますか？（回答は1つ）



**[Q6] Q6 あなたは、立命館大学「薬学研究科薬科学専攻修士課程」に転入学したいと思いませんか？
(回答は1つ)**



大学院進学に関するアンケート
(立命館大学薬学部創薬科学科 3 年次アンケート調査)

| | |
|----------|---------------------------------|
| 所属学部・研究科 | 薬学部 |
| 所属学科 | 創薬科学科 |
| 回生 | (いずれかに○) 1 回生・2 回生・3 回生・4 回生 |

Q1

立命館大学では、2020 年 4 月に「大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程」を立命館大学びわこ・くさつキャンパス(BKC)に設置すべく準備を進めております。本専攻は「薬を生み出す創薬研究者」の育成を目的としており、医薬品等の創製を中心とする学際的な薬科学の専門知識と研究力を備え、教育機関、研究機関、産業界、衛生行政などで貢献できる人材を育成します。あなたは、立命館大学の「薬学研究科修士課程」について、関心はありますか？
(1 つ選択)

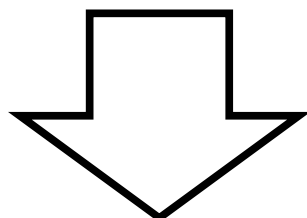
- 興味がある
- 少し興味がある
- あまり興味がない
- 全く興味がない

Q2

立命館大学「薬学研究科薬科学専攻修士課程」に入学したいと思いますか？
(1 つ選択)

- ぜひとも入学したい
- 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい
- あまり入学したくない
- 全く入学したくない
- わからない

Q2 の選択肢『ぜひとも入学したい』、『合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい』のなかでいずれかを選択した場合は裏面にお進みください。



Q3

薬学研究科薬科学専攻修士課程に入学したい理由についてお答えください。
(複数選択可)

- 創薬科学について学修・研究を深めたいから
- 将来、研究者を目指しているから
- その他（自由記述）

Q4

あなたが薬学研究科薬科学専攻修士課程に入学した場合、希望の進路をお答えください。
(1つ選択)

- 高度な専門知識と研究力を活かし、製薬会社や化学メーカーの研究・開発部門で活躍を目指す
- 国家や自治団体の衛生行政部門や企業等の医療情報部門で活躍を目指す
- 博士後期課程にてさらに研究を発展させ、薬学部教員やアカデミアでの研究職を目指す
- その他（自由記述）

ご協力ありがとうございました。

立命館大学「薬学研究科薬科学専攻修士課程」では、幅広い薬科学研究分野を対象とするため、専攻内に薬品分子創製化学、生体分子解析学、薬物動態解析学、生体機能薬学、薬物作用解析学の5つの分野を設定し、専門分野に応じた基盤的な知識及び先端的な研究技術が取得できる教育体制を整えます。

設置構想中

※下記内容は、設置構想中の計画です。大学名、研究科・専攻の名称、教育内容、募集人員、募集開始時期、入学者選抜方法等については、現時点での予定であり、変更があり得ることをご了承ください。

2018年11月

立命館大学大学院薬学研究科薬科学専攻（仮称）修士課程について

(1) 専攻名称、学位名称

基礎となる学科は「創薬科学科」であるが、本専攻の名称は、より広い領域を対象とする教育と研究を行うことから「薬科学専攻」とする。

学位および学位に付記する名称は、「修士（薬科学）」とする。

研究科・専攻・学位等についての英文表記は、次のとおり。

| 研究科名 | 専攻名 | 学位 |
|--------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 薬学研究科 Graduate School of Pharmacy | 薬学専攻 Major in Pharmacy | 博士（薬学） Doctor of Pharmacy |
| | 薬科学専攻 Major in Pharmaceutical Sciences | 修士（薬科学） Master of Pharmaceutical Sciences |

(2) 開設年度：2020年4月

(3) 定員：入学定員：20名、収容定員：40名

(4) 学費：現在検討中ですが、立命館大学の理系大学院と同水準となることを想定しています。

設置場所

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1 立命館大学 びわこ・くさつキャンパス



| 駅名 | 所要時間 | 備考 |
|-----------|--------------------|---------------------------------|
| 京都 中書島駅 | 約30分 | 平日 中書島発15便 大学発14便 (土日祝は運行しません。) |
| JR 大津駅 | 約25分 | 平日16往復 (土日祝は運行しません。) |
| JR 大阪駅 | JR 47分 | |
| JR 京都駅 | JR 17分 | |
| JR・近鉄 奈良駅 | JR・近鉄 (京都駅経由) 約60分 | |
| JR 三ノ宮駅 | JR 約70分 | |

近江鉄道バス 約10分
 「立命館大学行き」
 または
 立命館大学経由
 「飛鳥グリーンヒル行き」

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス

薬学研究科薬科学専攻修士課程では、修了時点において学生が身につけるべき能力（教育目標）として下記の4点を定めます。所定科目30単位以上の修得と薬学研究科が定める学位（修士）論文評価基準に基づく修士論文審査の合格をもってその達成とみなし、修士（薬科学）の学位を授与します。

- ① 薬学および生命科学領域の知識を基礎として、医薬品等の創製を中心とした薬科学の専門知識を有する。
- ② 高い倫理観を持って医薬品等の研究開発や教育研究、衛生行政に貢献できるような、問題発見・解決能力、論理的思考能力を有する。
- ③ 日本語で論理的な学術論文の作成やプレゼンテーションができる。
- ④ 国際社会で活躍するために、薬科学分野の専門知識を用いた英語での基本的なコミュニケーションができる。

幅広い薬科学研究分野を対象とするため、専攻内に薬品分子創製化学、生体分子解析学、薬物動態解析学、生体機能薬学、薬物作用解析学の5つの分野を設定し、専門分野に応じた基盤的な知識及び先端的な研究技術が取得できる教育体制とする。薬品分子創製化学分野は有機化学、天然物化学を、生体分子解析学分野は物理化学、分析化学、衛生化学を、薬物動態解析学分野は薬剤学、製剤学、安全性評価学を、生体機能薬学分野は生化学、衛生化学を、薬物作用解析学分野は薬理学、有効性評価学を基盤とし、別紙のカリキュラムを予定しています。将来像に合わせた体系的履修が可能となるよう、以下の履修モデルも提示します。

履修モデル1：高度な専門知識と研究力を活かし、製薬会社や化学メーカーの研究・開発部門で活躍を目指す

医薬品の創製には、生体を構成する分子から細胞、個体レベルにおける薬物作用の理解、さらには合成医薬品や生薬・天然物医薬品、抗体医薬品などの幅広い知識が必要となる。化学・物理系分野（薬品分子創製化学分野、生体分子解析学分野）では、医薬品の合成や生体分子の構造、機能、安定性について深い知識を習得し、生物系分野（薬物動態解析学分野、生体機能薬学分野、薬物作用解析学分野）では、生体機能、疾患に関わる病理や薬物作用、薬物動態について深い知識を習得する。また、演習や特別研究を通じ問題発見・解決能力、論理的思考能力を醸成することが望まれる。所属分野の必修科目に加え、「公衆衛生・国際保健特論」「研究開発・知的財産特論」を履修することが推奨される。さらに、臨床に関わる科目を履修することにより、創薬や臨床開発に関わる広い知識を習得することが望まれる。

履修モデル2：国家や自治団体の衛生行政部門や企業等の医療情報部門で活躍を目指す

国家や自治団体における衛生行政（保健行政と医療行政）部門や、企業等にて医薬品の情報管理や医療情報担当者として活躍するためには、薬科学や生命科学に関する専門知識とともに、公衆衛生や臨床開発に関わる医薬品評価や医療情報についての専門知識も必要となる。各分野における専門知識の習得に加え、薬物動態や薬物作用、医薬品の安全性評価、公衆衛生に関わる知識を習得する。演習や特別研究を通じ問題発見・解決能力、論理的思考能力を醸成することが望まれる。所属分野の必修科目に加え、「薬物動態解析学特論」「薬物作用解析学特論」「公衆衛生・国際保健特論」を履修し、「基礎医療情報学特論」「医療品評価学特論」「基礎生活習慣病特論」を履修することが望まれる。

履修モデル3：さらに博士後期課程にて研究を発展させ、薬学部教員やアカデミアでの研究職を目指す

将来に薬学部教員やアカデミアでの研究職を目指す学生は、医薬品創製に関わる広く深い知識とともに、演習や特別研究を通じて、専門分野における科学研究の動向を把握し問題発見・解決に取り組む力、科学的根拠と論理的思考に基づいた研究論文の作成能力が必要である。また、世界に向けて英語で情報発信できる力、英語でのコミュニケーション能力を醸成する必要がある。薬科学に関わる多くの専門科目を重点的に履修することが望ましい。また、英語での情報発信力やコミュニケーション能力の醸成のために、「英語 GP」を履修することが望ましい。

カリキュラム概要 (案)

| | | |
|------------|------|---------------|
| 専門科目 | コア | 薬品分子創製化学特論 |
| | | 生体分子解析学特論 |
| | | 薬物動態解析学特論 |
| | | 生体機能薬学特論 |
| | | 薬物作用解析学特論 |
| | | 分析神経科学特論 |
| | | 生命有機化学特論 |
| | | 公衆衛生・国際保健特論 |
| | | 研究開発・知的財産特論 |
| | | 専門英語 |
| | 選択 | 創剤学特論 |
| | | 病原微生物学・感染症学特論 |
| | | 臨床治療学特論 |
| | | 天然薬物学特論 |
| | | 臨床副作用学特論 |
| | | 分子病態学特論 |
| | | 分子生物薬剤学特論 |
| | | 生理・構造生物学特論 |
| | | 幹細胞生物学特論 |
| | | 生活習慣病特論 |
| 医薬品安全評価学特論 | | |
| 医療情報分析学特論 | | |
| 自由科目 | 選択 | 技術者実践英語 |
| 薬科学研究科目 | 演習 | 演習 1 |
| | | 演習 2 |
| | | 演習 3 |
| | | 演習 4 |
| | 特別実験 | 特別実験 1 |
| | | 特別実験 2 |
| | | 特別実験 3 |
| | | 特別実験 4 |

研究室概要(案)

<薬品分子創製化学分野>

薬品分子化学研究室 担当教員／梶本 哲也 薬学博士

本研究室は、天然物化学および有機合成化学をバックグラウンドとして、天然物の合成、化学修飾、天然物類似体の合成を行いながら、医薬品シードとなり得る生理活性物質の探索を研究テーマとする。特に、糖グリコシド、ステロイド配糖体、イミノ糖ならびにその類縁体の生物活性に注目し、これら有機化合物の一般的かつ効率的な合成法を確立したいと考えている。現在、本目標の1つを達成すべく、無臭チオールを活性化基とするチオグリコシドを用いて、環境に優しいグリコシル化反応の検討を開始している。

精密合成化学研究室 担当教員／土肥 寿文 博士(薬学)

有機合成化学を通じて、新しい創薬リード化合物を生み出したり、くすりの望みとする機能を大きく引き出したりすることができる。現在、欲しい医薬品を理論的に設計する時代が到来しつつあり、創薬の場においてますます有機合成の活躍する環境が整ってきた。当研究室ではこれまで、創薬研究に役立つ有機合成の知識と技術の伝承に携わりながら、持続可能で未来に残る精密有機合成を一つの指針として追及してきた。独

自に開発した合成化学手法を用いて、優れた生物活性を持つ天然物や生物活性物質の類縁体を合成し、創薬開発候補とする研究開発を目指す。

生命薬化学研究室 担当教員／古徳 直之 博士(薬学)

医薬シーズとしての有用性が高い生物活性天然物について、引き続き構造活性相関研究を進めるとともに、その情報をもとにして、活性発現のメカニズムを解明するための分子プローブを設計し、合成する。

<生体分子解析学分野>

生体分子構造学研究室 担当教員／北原 亮 博士(理学)

蛋白質が異常をきたすと、アルツハイマー病に代表される神経変性疾患や癌など様々な病気につながる。蛋白質の構造を原子レベルで理解することにより、機能発現や病気のメカニズムの分子論的な解釈が可能となる。数千気圧の高圧力実験から、溶液中の蛋白質がもつ多様なコンフォメーションの存在を明らかにする。構造変化は、コンフォメーション間の化学平衡の変化を意味し、分子の機能の高さや凝集性などその性質と直接関係する。このような蛋白質構造の研究から、医薬品開発における新しい方法論の開発を行う。

生体分析化学研究室 担当教員／豊田 英尚 薬学博士

糖鎖は、がんや糖尿病、ウイルス感染のほか、免疫機能とも関わり、あらゆる生命現象を解く鍵である。薬学研究では、生物薬品における糖鎖が薬効や安全性に影響をあたえるため、非常に重要な研究対象である。当研究室では糖鎖の機能解明を目的として、医薬品開発に役立つ研究を行うほか、ES 細胞や iPS 細胞における糖鎖の質的・量的な解析を行い、再生医療への貢献を目指している。具体的には、生体内糖鎖の中でも特に分析が難しい、グリコサミノグリカン(ヒアルロン酸、ヘパリン・ヘパラン硫酸、コンドロイチン硫酸、ケラタン硫酸)などの酸性多糖に関する超微量分析法の開発を行っている。また、iPS 細胞表面や ES 細胞表面に発現する特異的な糖鎖エピトープが細胞リプログラミングや分化において果たす生物学的役割を解析して、その活性糖鎖の化学構造を解明することにより、再生医療に役立つ細胞培養技術に必要な基盤知識の獲得を目指している。

<薬物動態解析学分野>

分子薬物動態学研究室 担当教員／藤田 卓也 博士(薬学)

医薬品とは、特定の薬理効果を持つ有機化合物にその有効性と安全性を保障する十分な情報と、確実にヒトに投与されるための技術が付与された一つのシステムと考えられる。近年、ゲノム情報に基づいた論理的な医薬品開発が理論上は可能となってきている。こうしたゲノム創薬をはじめとした新薬開発研究は、非常に魅力的であり、注目が集まりがちであるが、その有効性と安全性が確保されなければ決して医薬品としての医療現場に供されることはない。そのため、新規医薬品の開発には、薬物の体内動態研究に基づいた化合物の最適化、有効性と安全性に関する proof of concept の検証、さらには適切な投与システムの開発が必須となる。医薬品の体内動態、薬物の吸収(A:absorption)、分布(D:distribution)、代謝(M:metabolism)、排泄(E:elimination)、毒性(Tox:toxicity)により規定されるが、これらの生体内反応にかかる分子機構は極めて複雑で、未だ十分に解明されているとはいえない。本研究室では、こうした ADME-Tox 研究の中で、主として薬物吸収に焦点をあて、探索段階における新規開発化合物のヒトでの吸収性予測や製剤設計の合理化に関する研究、および創薬ターゲットとしてのトランスポーターの探索を進めている。

分子薬剤学研究室 担当教員／菅野 清彦 博士(薬学)

良好な生物学的利用率(バイオアベイラビリティ:BA)を有する薬物および製剤の開発は、有効性と安全

性の高い医薬品の開発に必須である。経口製剤からのBAは、生体および薬物の様々な要因が複雑に関与しており、BAの全容解明は喫緊の課題となっている。そこで、本研究では、生体および薬物の物理化学的側面からBAの全容解明を目指した研究を行う。具体的な研究課題は、以下のような項目である。

過飽和現象、消化管流体力学、製剤-薬物間相互作用、生体成分-薬物間相互作用、食事成分-薬物間相互作用、構造膜透過性相関、構造溶解度相関、原薬形態最適化、製剤のパフォーマンス安定性、生物学的同等性、個体間および個体内差、消化管代謝、トランスポーター、その他関連項目。

<生体機能薬学分野>

神経発生システム研究室 担当教員／小池 千恵子 博士(薬学)

私たちは、毎日の生活における認識や行動の多くを視覚情報に依存している。網膜は哺乳類において、光情報を神経情報に変換する唯一の神経組織である。視覚情報は、大脳皮質視覚野で分解・統合といった情報処理が行われることは良く知られているが、光情報が入力する第一段階の組織である網膜においてまず基本となる重要な情報処理が行われている。私達は、網膜の情報処理の中心となる ON・OFF 回路に注目した、網膜回路による視覚応答制御の階層横断的解析を行っている。

生体情報制御学研究室 担当教員／鈴木 健二 医学博士

生体情報制御学では、タンパク質のリン酸化とそれに関わる情報伝達分子の相互作用に焦点をあて、様々な疾患メカニズムや治療法の開発に繋がる研究を行う。具体的には、「肥満」と「糖尿病」をつなぐ脂肪細胞とマクロファージの相互作用の分子メカニズムを解明する研究や、複雑なシグナルネットワークに潜む制御システムを抽出してその制御原理を明らかにする研究、環境汚染物質が生体に及ぼす影響を解析する研究を行う。

細胞工学研究室 担当教員／高田 達之 農学博士

我々ヒトの体は、約 200 種類からなる 60 兆個の細胞により構成され、これらが 1 つのシステム(個体)として統合され、機能している。これらの基となった細胞、ゲノム情報は 1 つであり、発生の過程でこのような多種類、多数の細胞が生み出される。この分化過程には様々なシグナル伝達に関与し、エピジェネティックな遺伝子発現変化を生じさせている。また、iPS 細胞の確立により、初期化現象の解析も可能となってきた。細胞工学研究室では、細胞分化、初期化メカニズム解析の観点から、マウスおよび霊長類の ES、iPS 細胞を用いた生殖細胞分化、環境化学物質が幹細胞分化に与える影響、発生に伴う DNA メチル化の変動に焦点をあて、研究を展開している。

<薬物作用解析学分野>

薬効解析科学研究室 担当教員 / 北村 佳久 薬学博士

薬効解析科学研究室では、「脳」を対象とし、薬理的な研究を行っている。脳には、全身機能を調節する神経細胞とそれをサポートするグリア細胞(アストロサイト、ミクログリアなど)、栄養を供給する脳血管が存在し、お互いが協調しながら、脳内活動を営んでいる。しかし、老化、遺伝的原因、事故などにより脳のホメオスタシスが破綻したとき、アルツハイマー病、パーキンソン病、脳卒中(脳出血・脳梗塞)などの脳の病気が発症する。超少子高齢化社会を迎えた現代、老化とともに発症頻度の高まる、このような疾患の治療薬開発は急務の課題であり、多くの製薬企業もこの分野に参入しているが、残念ながら、根本的治療が期待できる特効薬はない。薬効解析科学研究室では、実験動物(ラット・マウス・プラナリアなど)やヒト由来培養細胞を用いて脳疾患発症メカニズムの解析から創薬ターゲットの探索や薬物リードと考えられる薬物の作用機序の解明および創薬研究を展開している。

臨床薬理学研究室 担当教員 / 服部 尚樹 医学博士

薬物の適正使用は臨床薬学において重要なテーマである。本研究室では内分泌疾患における薬物の適正使用に関連した研究を行っている。高プロラクチン血症の治療にはドパミン作動薬が用いられるが、消化器症状などの副作用が強い。本研究室ではプロラクチンに対する自己抗体が原因であり、高プロラクチン血症の新たな原因となる「マクログラクチン血症」を見出した。その基礎的、臨床的研究を通して、本疾患に対する薬物治療の必要性について検討している。インスリンを使用している糖尿病患者で、インスリンに対する自己抗体ができる場合があり、インスリン抵抗性の原因になっている。本研究室ではインスリン自己抗体産生に対する基礎的、臨床的検討を行っており、*in vitro* で適正なインスリンへの変更の提案ができないか検討している。これらの研究は京都医療センターや神戸医療センターなどと共同で実施している。

入学定員が同規模の大学の薬学研究科博士課程前期課程の学費・立命館大学理系大学院の学費

| 大学名 | 入学金 | 学費等 | その他 | 初年度合計 |
|---------------------------|---------|---------|---------|-----------|
| 京都薬科大学 薬学研究科薬科学専攻博士前期課程 | 250,000 | 700,000 | | 950,000 |
| 近畿大学 薬学研究科薬科学専攻博士前期課程 | 200,000 | 950,000 | | 1,150,000 |
| 大阪薬科大学 薬学研究科薬科学専攻博士前期課程 | 100,000 | 500,000 | | 600,000 |
| 武庫川女子大学 薬学研究科薬科学専攻博士前期課程 | 280,000 | 705,000 | 100,000 | 1,085,000 |
| 北里大学 薬学研究科薬科学専攻博士前期課程 | 200,000 | 650,000 | | 850,000 |
| 慶應義塾大学 薬学研究科薬科学専攻博士前期課程 | | 960,000 | 62,600 | 1,022,600 |
| 明治薬科大学 薬学研究科生命創薬学専攻博士前期課程 | 200,000 | 900,000 | 31,750 | 1,131,750 |
| 城西大学 薬学研究科薬科学専攻博士前期課程 | 300,000 | 730,000 | 24,000 | 1,054,000 |

| 大学名 | 入学金 | 学費等 | その他 | 初年度合計 |
|--------------------------------|----------------|------------------|---------------|------------------|
| 立命館大学 生命科学研究所博士前期課程 | 300,000 | 1,137,200 | 34,000 | 1,471,200 |
| 立命館大学 理工学研究科博士前期課程（数理科学コースを除く） | 300,000 | 1,150,000 | 34,000 | 1,484,000 |
| 立命館大学 理工学研究科博士前期課程（数理科学コース） | 300,000 | 1,075,000 | 34,000 | 1,409,000 |
| 立命館大学 情報理工学研究科博士前期課程 | 300,000 | 1,137,200 | 34,000 | 1,471,200 |
| 立命館大学 薬学研究科薬科学専攻修士課程 | 300,000 | 1,137,200 | 34,000 | 1,471,200 |

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」資料8

一般社団法人薬学教育協議会 平成30年3月薬系大学卒業生・大学院修了者就職動向調査の集計報告（43ページ）

2. 出典

一般社団法人薬学教育協議会

3. 引用元

一般社団法人薬学教育協議会 平成30年3月薬系大学卒業生・大学院修了者就職動向調査の集計報告（抜粋）（第7表、第8表、第16表）

[http://yaku-kyou.org/wp/wp-](http://yaku-kyou.org/wp/wp-content/uploads/2018/11/281c0618c8371b7606f7a9c068d029c9.pdf)

[content/uploads/2018/11/281c0618c8371b7606f7a9c068d029c9.pdf](http://yaku-kyou.org/wp/wp-content/uploads/2018/11/281c0618c8371b7606f7a9c068d029c9.pdf)

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」資料9

医薬品企業売上高トップ20社の本社・研究所・工場の所在地（47ページ）

2. 出典

日本経済新聞社

3. 引用元

医薬品企業売上高トップ20社の本社・研究所・工場の所在地

[https://www.nikkei.com/markets/ranking/page/?bd=uriage&ba=0&Gcode=09
&hm=1](https://www.nikkei.com/markets/ranking/page/?bd=uriage&ba=0&Gcode=09&hm=1)

4. 説明

著作物のデータをもとに各社ホームページを参照し、一覧表を作成した。また、所在地が近畿圏のものには下線を付した。

1. 書類等の題名

「学生の確保の見通し等を記載した書類」資料 10

文部科学省 薬学系大学院専攻別一覧（平成 30 年度）（49 ページ）

2. 出典

文部科学省

3. 引用元

文部科学省 薬学系大学院専攻別一覧（平成 30 年度）

http://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/08091815.htm

4. 説明

2018（平成 30）年 10 月頃に上記ページのリンクから 2018（平成 30）年度版データを引用した（2019（令和元）年 9 月 3 日現在、引用した資料は上記 URL において 2019（令和元）年度版に更新されている）。

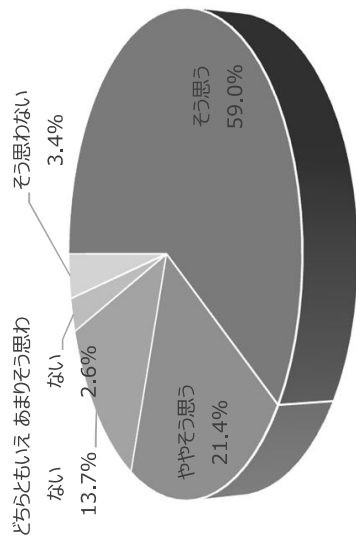
立命館大学大学院薬学研究科薬科学専攻 (仮称) 修士課程についてのアンケート結果

(医薬品関連企業 人事ご担当者向け)

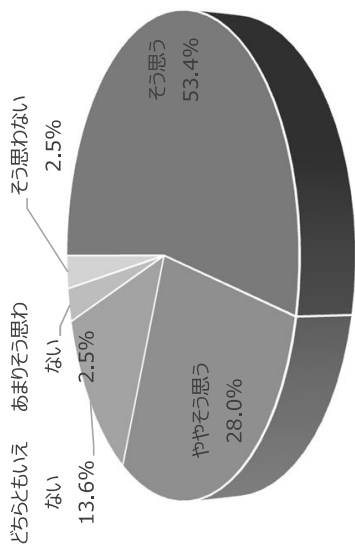
立命館大学薬学部創薬科学科
2017年12月

(アンケート送付数: 375件 回答者数: 119件)

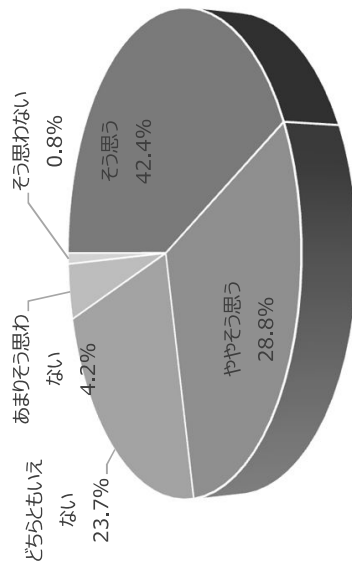
薬学系の修士課程を修了した人材は御社にとって必要ですか？



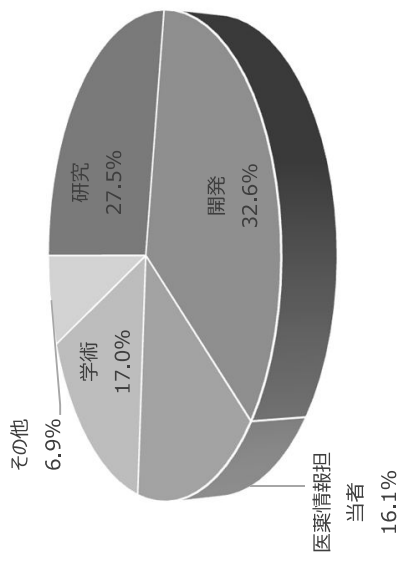
御社において、薬学系の修士課程を修了していることは強みになりますか？



薬学系の修士課程を修了した人材が増えることは望ましいと思いますか？

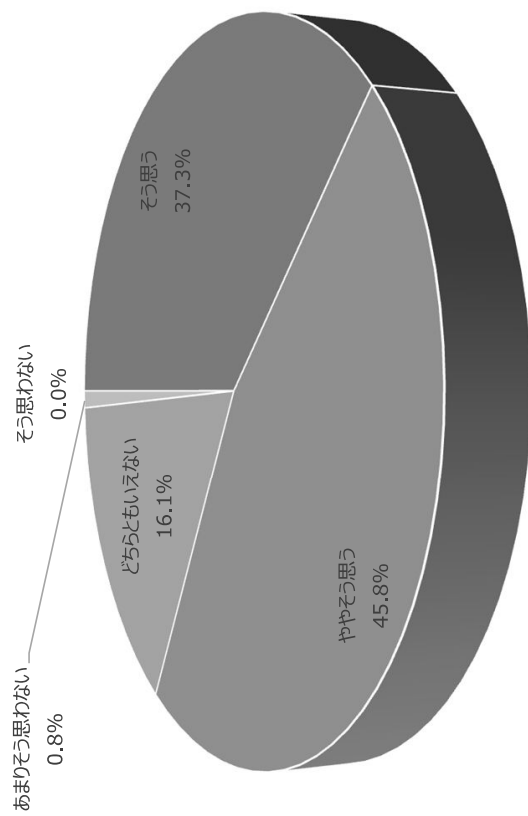
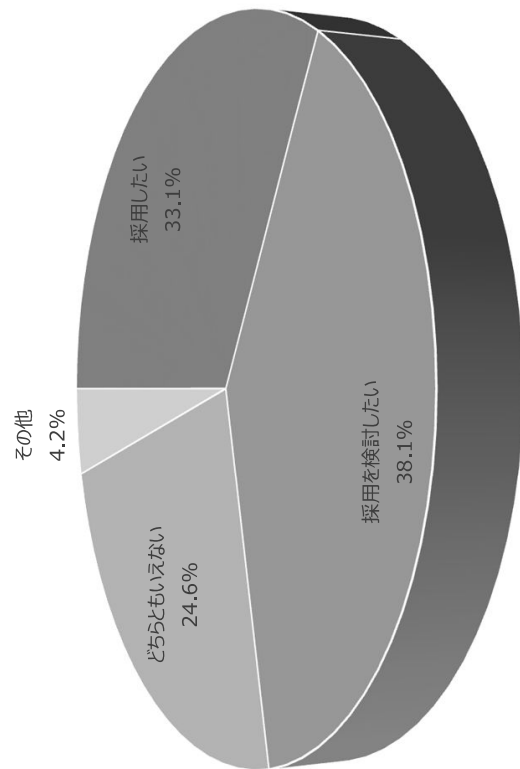


(上記で「そう思う」「ややそう思う」を回答された方のみ) 薬学系の修士課程を修了していることは、どの分野において強みになりますか？



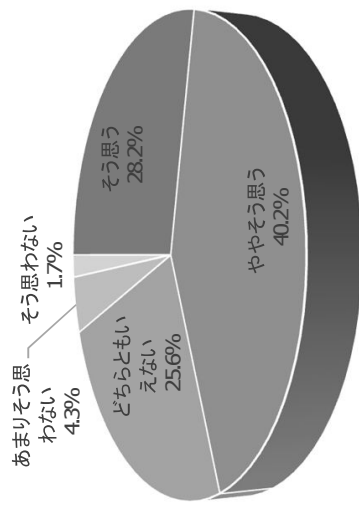
立命館大学薬学部が構想している修士課程「薬科学専攻（仮称）」について、どのような印象を持ちましたか？以下の質問に
 対して、当てはまる項目をお選びください。

立命館大学大学院薬学研究科「薬科学専攻（仮称）修士課程」の卒業生を採用したいですか？ 立命館大学大学院薬学研究科「薬科学専攻（仮称）修士課程」の教育・研究に期待できる。

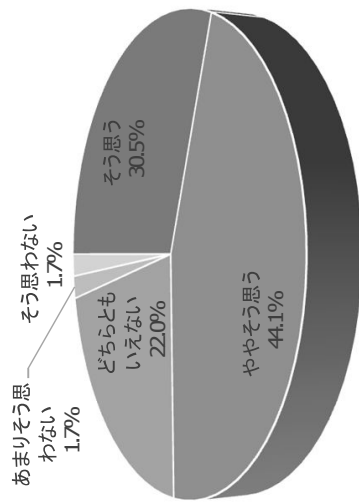


立命館大学薬学部が構想している修士課程「薬科学専攻（仮称）」について、どのような印象を持ちましたか？以下の質問に対して、当てはまる項目をお選びください。

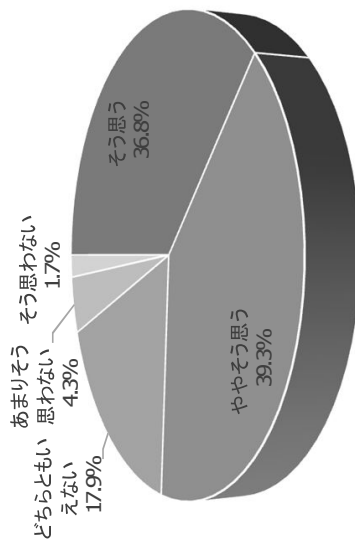
修了後の進路がイメージしやすい。



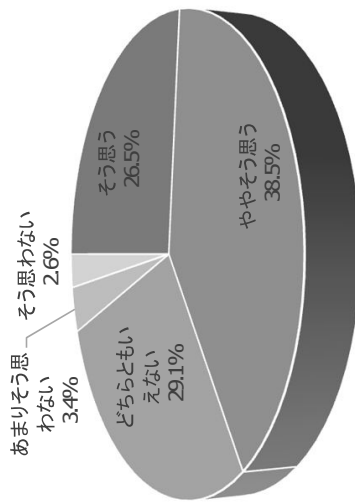
将来性がある。



輩出する人材（修了後）は、これからの社会において需要が高い。



就職に有利である。



2017年11月吉日

医薬品関連企業 人事ご担当者 殿

立命館大学
薬学部長・薬学研究科長
服部 尚樹
(公印省略)

立命館大学大学院薬学研究科薬科学科（仮称）修士課程
設置に関するアンケート調査(ご依頼)

拝啓 晩秋の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素より、本学の教育・研究に関しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、本学では2015年4月に既存の薬剤師養成を目的とする6年制薬学科に加え、薬学研究者育成を目的とする創薬科学研究科を新設し、「薬を中心に据えた」人の健康に関わる自然科学を基盤とした、医薬品の創製と分析、環境因子と人体への影響、疾病と薬物治療など多方面にわたる「学際的な薬学」の専門知識と技術の習得を通じ、医薬品創製の分野で社会に貢献できる人材育成を目指し教育・研究に取り組んでまいりました。

ご存知のとおり、薬学研究者を育成するためには、学部での教育のみでは十分にその機能を果たすことができず、学部をベースとした大学院レベルの教育を行うことが必須でございます。

これらの背景から、本学薬学部創薬科学科の第1期卒業生を送り出す2019年に、既設の大学院薬学研究科に「薬科学専攻（仮称）修士課程」を新設したいと考えております。

つきましては、貴社より「薬科学専攻（仮称）修士課程」に対する率直なご意見、ご要望を含めて、別紙アンケートにお答えの上、2017年11月30日までに同封しております返信用封筒にて薬学部事務室までご返信いただきたく存じます。

今後ともより良い薬学教育を展開する努力を継続してゆく所存でございますので、ぜひともご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

【本件に関するお問合せ先】

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1
立命館大学びわこ・くさつキャンパス
薬学部事務室
担当：大淵
TEL：077-561-2563
E-mail：obuchi@st.ritsumeai.ac.jp

立命館大学大学院薬学研究科薬科学専攻(仮称)

修士課程の設置について (構想案)

※予定であり変更の可能性がございます。

1. 設置の趣旨及び必要性

近年創薬研究の需要はますます増大する一方であり、「日本再興戦略(平成 25 年 6 月閣議決定)」において、医療関連産業は、日本が国際的に強みを持ち、グローバル市場での成長が期待できる戦略分野と認知され、2015 年 6 月に厚生労働省より出された国際薬事規制調和戦略においても、日本の強みを生かした医薬品開発環境の整備やレギュラトリーサイエンスの更なる環境整備を通じて、国際社会の保健衛生向上への一層の貢献が訴えられています。

一方、薬物の適正使用に求められる知識・技能の習得とその進歩を担う薬剤師養成を主な目的とする 6 年制学士課程の入学定員 10,662 名に対し、医薬品の創製・開発・生産、さらには食品・化粧品、環境や衛生分野などの薬学関連領域での研究及び教育に従事する人材養成を目指す 4 年制学科の定員は 835 名、薬学部を有する 56 私大のうち 16 大学に設置されているに過ぎません(文部科学省ホームページ 薬学教育 1. 基礎資料データ:薬科大学(薬学部)学科別一覧(平成 29 年度)http://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/08091815.htm)。

このような背景のもと、医薬品の研究開発整備に伴い予想される人材需要の増大に応えるべく、立命館大学では、2015 年 4 月に 4 年制学士課程である創薬科学科を追加設置いたしました。本学科においては、「薬を中心に据えた」人の健康に関わる自然科学を基盤とし、医薬品の創製と分析、環境因子と人体への影響、疾病と薬物治療など多方面にわたる「学際的な薬学」の専門知識と技術の習得を通じ、医薬品創製の分野で社会に貢献できる人材育成を目指しています。

この人材育成目標に則り、また上述の社会的要請をも鑑みて、創薬科学科では、入学時より研究者としての意識付けを行い、基礎薬学系科目の講義・実習を通じて生命科学の幅広い領域の知識と技能を身につけ、生理活性を有する機能性分子の設計・合成や疾病の分子レベルでの理解に基づく新規薬物標的の探索など、医薬品の創製に必須となる高度な専門知識の習得ができるようにカリキュラムを設計しております。学生の向学心は非常に強く、2016 年 6 月における調査では、最上級学年である現3年生において大学院修士課程への進学希望者は、在籍 42 名中 38 名、90.5%に及んでいます。

また、他大学 4 年制課程卒業生の進路状況(一般社団法人 薬学教育協議会「平成 28 年 3 月薬系大学卒業生・大学院修了者就職動向調査」の集計報告)を見てみると、私立大学薬学部・薬科大学修士課程修了後の進路概況は、医薬品関連企業の研究・開発部門へは 47.9%、関連の化学・食品等企業研究部門を合わせると、希望の研究・開発部門に就職を果たした学生は就職者の 69.4%に及び、学士課程卒業生の同部門への就職数 4.7%と好対照を示しています。この結果は、我が国における「薬を生み出す創薬研究者」の育成には、大学院修士課程と連携した教育・研究指導をとることが、有効に機能することを如実に示していると言えます。

しかしながら、このような医薬品関連企業に創薬人材を供給する立場にある薬科学専攻修士課程は 56 私立大学薬学部・薬科大学のうち、21 大学に設置されているに過ぎず、しかもその総入学定員 367 名のうち 5 大学の 5 研究科を合わせて 75 名(20.4%)が西日本にあるのみで、東日本地域における偏在が著しい状況です(文部科学省ホームページ薬学教育 1. 基礎資料データ:薬系大学院専攻別一覧(平成 29 年度)http://www.mext.go.jp/a_menu/01_d/08091815.htm)。

このような状況下、薬系企業が多く存在する西日本の滋賀県にあって唯一の薬学部を擁する本学が、2015年の創薬科学科設置に引き続き、医薬品の創製を中心とする学際的な薬学の専門知識と研究力を備え、研究機関、産業界、衛生行政などに貢献できる人材養成を目的とした薬学研究科薬科学専攻修士課程を設置することは、創薬人材の地域的偏在性の改善に有効であるだけでなく、関西を主たる基盤の一つとする医療関連産業に対し恒常的に質の高い人材の供給を可能にすることから、現今の創薬人材の拡底に対する社会的要請に応え、日本再興に貢献する観点からも意義深いと考えます。

2. 修士までの構想か、博士課程の設置を目指した構想か

薬学研究科創薬科学専攻(仮称)は、医薬品創製の産業分野や医療・健康増進のための学術研究などに貢献できる人材の育成を目指したものであり、将来的に博士後期課程の設置を目指しています。2019年に「修士課程」の設置認可申請をまず行い、2021年の博士後期課程の課程変更申請の際に修士課程を博士前期課程に変更する予定です。

3. 研究科、専攻等の名称及び学位の名称

(1) 専攻名称、学位名称

基礎となる学科は「創薬科学科」であるが、本専攻の名称は、より広い領域を対象とする教育と研究を行うことから「薬科学専攻」とし、学位および学位に付記する名称は、「修士(薬科学)」とします。

(2) 開設年度

2019(平成31)年4月

(3) 定員

入学定員:20名、収容定員:40名

4. 教育課程の編成の考え方および特色

(1) 教育課程編成・実施方針(カリキュラムポリシー)

薬学研究科薬科学専攻修士課程では、修了時点において学生が身につけるべき能力(教育目標)として下記の4点を定め、学生は5つの研究分野(薬品分子創製化学分野、生体分子解析学分野、薬物動態解析学分野、生体機能薬学分野、薬物作用解析学分野)のいずれかに所属して研究指導を受けます。

- ① 薬学および生命科学領域の知識を基礎として、医薬品等の創製を中心とした薬科学の専門知識を有する。
- ② 高い倫理観を持って医薬品等の研究開発や教育研究、衛生行政に貢献できるような、問題発見・解決能力、論理的思考能力を有する。
- ③ 日本語で論理的な学術論文の作成やプレゼンテーションができる。
- ④ 国際社会で活躍するために、薬科学分野の専門知識を用いた英語での基本的なコミュニケーションができる。

(2) 教育課程の編成の体系

立命館大学大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程の教育課程は、「講義」、「演習」および「特別実験」によって編成されます。本課程への入学者は、医薬品、化粧品、食品などや国立医薬品食品衛生研究所に代表される衛生行政に関する多様な分野で専門家さらには医薬品・衛生行政の担い手として活躍することを目指し、薬学部創薬科学科やそれ以外の4年制理系学部を卒業して入学してくる学生を想定しています。これらの学生に対する教育課程は、個々の学生が目的に合った授業科目を履修し、指導教員と共に研究に取り組み、修士論文を作成するものになっており、講義科目は、自らの専門領域を中心に周辺領域の知識を含めて薬学全体にわたる知識の修得ができるよう配慮します。薬科学研究の目的の1つである医薬品の創製は、自然科学の基礎知識と、それらの上に構築される薬学の専門知識の集積を必要とすることから、薬科学専攻における講義は、有機化学、生薬学・天然物化学、物理化学、分析化学、生化学、薬理学、薬剤学、衛生化学を含めた基礎薬学領域と、医薬品の製剤化・有効性評価・安全性評価などを扱う応用薬学領域から構成されています。

幅広い薬科学研究分野をカバーするために、薬品分子創製化学、生体分子解析学、薬物動態解析学、生体機能薬学、薬物作用解析学の5つの分野を設定し、学生は入学時にいずれかの研究分野に所属し、主担当教員による「特別実験」の他、必要に応じて関連分野の複数の教員による助言が行われます。薬品分子創製化学分野は有機化学、生薬学、天然物化学を、生体分子解析学分野は物理化学、分析化学、衛生化学を、薬物動態解析学分野は薬剤学、製剤学、安全性評価学を、生体機能薬学分野は生化学、衛生化学を、薬物作用解析学分野は薬理学、有効性評価学を、それぞれ基盤としたテーマを主要な研究対象としています（別紙1参照）。

「特別実験」では主に実験技術の習得や新しい研究手法の追求に重点がおかれます。それ以外に、研究活動における様々なコミュニケーション能力の構築も重要課題であるので、PBL (Problem Based Learning) 形式の「演習」を指導教員の参加のもと小集団で実施します。自身の研究成果の報告や学会発表の準備、さらには発表とその際に行われる質疑応答を通じて、高度なプレゼンテーション能力の修得に努めます。また、「演習」および「特別実験」を通して、研究の質の向上や研究不正に対する理解を日常的に深めさせ、高い研究倫理観を身につける。

<国内外の研究機関・研究者との交流>

国内外の研究者や企業との共同研究等を通じて様々な交流が日常的に行われますが、本課程では、国際的に魅力のある大学院教育の構築に向けて、講義科目として「公衆衛生・国際保健」および「研究開発・知的財産」を設定し、さらなる質の向上を目指します。「公衆衛生・国際保健」では、行政や民間機関の研究者による我が国の環境、保健、公衆衛生の実情の説明のみならず、JICA 職員等による発展途上国における疾病予防、健康増進の取り組みの紹介、さらには JICA インターンシップへの参加も視野に入れた内容を展開します。また「研究開発・知的財産」では、様々な企業の研究者を招いて、企業が求める（海外でも活躍出来る）人材像を中心テーマとした講演を通じて、卒業後の進路や自身のスキルアップの方向性を熟考するための多角的な材料を提供します。

5. 設置場所

〒525 - 8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1

立命館大学 びわこ・くさつキャンパス



6. 他大学院修士課程の設置状況

医薬品関連企業に創薬人材を供給する立場にある薬科学専攻修士課程の設置状況については別紙2のとおりで、56 私立大学薬学部・薬科大学のうち、21 大学に設置されているに過ぎず、しかもその総入学定員 367 名のうち 5 大学の 5 研究科を合わせて 75 名 (20.4%) が西日本にあるのみで、東日本地域における偏在が著しい状況です。

以上

アンケート調査表

※このアンケートは文部科学省への設置申請に活かしていく予定です。設置申請手続きの都合上、大変恐縮ではございますが 2017年11月30日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

Q1. 薬学系の修士課程を修了した人材は御社にとって必要ですか？

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

Q2. 御社において、薬学系の修士課程を修了していることは強みになりますか？

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

Q3. (Q2で①②を回答された方のみ) 薬学系の修士課程を修了していることは、どの分野において強みになりますか？

- ① 研究 ② 開発 ③ 医薬情報担当者 ④ 学術 ⑤ その他 ()

Q4. 薬学系の修士課程を修了し博士の学位を取得した人材は御社にとって必要ですか？

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

Q5. 御社において、薬学系の修士課程を修了し博士の学位を取得していることは強みになりますか？

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

Q6. (Q5で①②を回答された方のみ) 薬学系の修士課程を修了し博士の学位を取得していることは、どの分野において強みになりますか？

- ① 研究 ② 開発 ③ 医薬情報担当者 ④ 学術 ⑤ その他 ()

Q7. 薬学系の修士課程を修了した人材が増えることは望ましいと思いますか？

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

Q8. 立命館大学薬学部が構想している修士課程「薬科学専攻(仮称)」について、どのような印象を持ちましたか？以下の質問に対して、当てはまる項目をお選びください。

Q8-1 輩出する人材(終了後)は、これからの社会において需要が高い。

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

Q8-2.将来性がある。

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

Q8-3.修了後の進路がイメージし易い。

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

Q8-4.就職に有利である。

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

Q8-5.受験生や保護者の関心が高い。

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

Q8-6.立命館大学大学院薬学研究科「薬科学専攻（仮称）修士課程」の教育・研究に期待できる。

- ① そう思う ② ややそう思う ③ どちらともいえない ④ あまりそう思わない ⑤ そう思わない

Q8-7.立命館大学大学院薬学研究科「薬科学専攻（仮称）修士課程」の卒業生を採用したいですか？

- ① 採用したい ② 採用を検討したい ③ どちらともいえない ④ その他（ ）

自由記述欄（ご意見などお寄せください）

| |
|--|
| |
|--|

以上

ご協力ありがとうございました。

1. 研究室概要

<薬品分子創製化学分野>

薬品分子化学研究室 担当教員／梶本 哲也 薬学博士

本研究室は、天然物化学および有機合成化学をバックグラウンドとして、天然物の合成、化学修飾、天然物類似体の合成を行いながら、医薬品リードとなり得る生理活性物質の探索を研究テーマとする。特に、ガングリオシド、ステロイド配糖体、イミノ糖ならびにその類縁体の生物活性に注目し、これら有機化合物の一般的かつ効率的な合成法を確立したいと考えている。現在、本目標の1つを達成すべく、無臭チオールを活性化基とするチオグリコシドを用いて、環境に優しいグリコシル化反応の検討を開始している。

精密合成化学研究室 担当教員／土肥 寿文 博士(薬学)

有機合成化学を通じて、新しい創薬リード化合物を生み出したり、くすりの望みとする機能を大きく引き出したりすることができる。現在、欲しい医薬品を理論的に設計する時代が到来しつつあり、創薬の場においてますます有機合成の活躍する環境が整ってきた。当研究室ではこれまで、創薬研究に役立つ有機合成の知識と技術の伝承に携わりながら、持続可能で未来に残る精密有機合成を一つの指針として追及してきた。独自に開発した合成化学手法を用いて、優れた生物活性を持つ天然物や生物活性物質の類縁体を合成し、創薬開発候補とする研究開発を目指す。

生命薬化学研究室 担当教員／古徳 直之 博士(薬学)

医薬シーズとしての有用性が高い生物活性天然物について、引き続き構造活性相関研究を進めるとともに、その情報をもとにして、活性発現のメカニズムを解明するための分子プローブを設計し、合成する。

<生体分子解析学分野>

生体分子構造学研究室 担当教員／北原 亮 博士(理学)

蛋白質が異常をきたすと、アルツハイマー病に代表される神経変性疾患や癌など様々な病気につながる。蛋白質の構造を原子レベルで理解することにより、機能発現や病気のメカニズムの分子論的な解釈が可能となる。数千気圧の高圧力実験から、溶液中の蛋白質がもつ多様なコンフォメーションの存在を明らかにする。構造変化は、コンフォメーション間の化学平衡の変化を意味し、分子の機能の高さや凝集性などその性質と直接関係する。このような蛋白質構造の研究から、医薬品開発における新しい方法論の開発を行う。

生体分析化学研究室 担当教員／豊田 英尚 薬学博士

糖鎖は、がんや糖尿病、ウイルス感染のほか、免疫機能とも関わり、あらゆる生命現象を解く鍵である。薬学研究では、生物薬品における糖鎖が薬効や安全性に影響をあたえるため、非常に重要な研究対象である。当研究室では糖鎖の機能解明を目的として、医薬品開発に役立つ研究を行うほか、ES 細胞や iPS 細胞における糖鎖の質的・量的な解析を行い、再生医療への貢献を目指している。具体的には、生体内糖鎖の中でも特に分析が難しい、グリコサミノグリカン(ヒアルロン酸、ヘパリン・ヘパラン硫酸、コンドロイチン硫酸、ケラタン硫酸)などの酸性多糖に関する超微量分析法の開発を行っている。また、iPS 細胞表面や ES 細胞表面に発現する特異的な糖鎖エピトープが細胞リプログラミングや分化において果たす生物学的役割を解析して、その活性糖鎖の化学構造を解明することにより、再生医療に役立つ細胞培養技術に必要な基盤知識の獲得を目指している。

<薬物動態解析学分野>

分子薬物動態学研究室 担当教員／藤田 卓也 博士(薬学)

医薬品とは、特定の薬理効果を持つ有機化合物にその有効性と安全性を保障する十分な情報と、確実にヒトに投与されるための技術が付与された一つのシステムと考えられる。近年、ゲノム情報に基づいた論理的な医薬品開発が理論上は可能となってきた。こうしたゲノム創薬をはじめとした新薬開発研究は、非常に魅力的であり、注目が集まりがちであるが、その有効性と安全性が確保されなければ決して医薬品としての医療現場に供されることはない。そのため、新規医薬品の開発には、薬物の体内動態研究に基づいた化合物の最適化、有効性と安全性に関する proof of concept の検証、さらには適切な投与システムの開発が必須となる。医薬品の体内動態、薬物の吸収 (A:absorption)、分布 (D:distribution)、代謝 (M:metabolism)、排泄 (E:elimination)、毒性 (Tox:toxicity) により規定されるが、これらの生体内反応にかかる分子機構は極めて複雑で、未だ十分に解明されているとはいえない。本研究室では、こうした ADME-Tox 研究の中で、主として薬物吸収に焦点をあて、探索段階における新規開発化合物のヒトでの吸収性予測や製剤設計の合理化に関する研究、および創薬ターゲットとしてのトランスポーターの探索を進めている。

分子薬剤学研究室 担当教員／菅野 清彦 博士(薬学)

良好な生物学的利用率(バイオアベイラビリティ:BA)を有する薬物および製剤の開発は、有効性と安全性の高い医薬品の開発に必須である。経口製剤からの BA は、生体および薬物の様々な要因が複雑に関与しており、BA の全容解明は喫緊の課題となっている。そこで、本研究では、生体および薬物の物理化学的側面から BA の全容解明を目指した研究を行う。具体的な研究課題は、以下のような項目である。

過飽和現象、消化管流体力学、製剤-薬物間相互作用、生体成分-薬物間相互作用、食事成分-薬物間相互作用、構造膜透過性相関、構造溶解度相関、原薬形態最適化、製剤のパフ

パフォーマンス安定性、生物学的同等性、個体間および個体内差、消化管代謝、トランスポーター、その他関連項目。

<生体機能薬学分野>

神経発生システム研究室 担当教員／小池 千恵子 博士(薬学)

私たちは、毎日の生活における認識や行動の多くを視覚情報に依存している。網膜は哺乳類において、光情報を神経情報に変換する唯一の神経組織である。視覚情報は、大脳皮質視覚野で分解・統合といった情報処理が行われることは良く知られているが、光情報が入力する第一段階の組織である網膜においてまず基本となる重要な情報処理が行われている。私達は、網膜の情報処理の中心となる ON・OFF 回路に注目した、網膜回路による視覚応答制御の階層横断的解析を行っている。

生体情報制御学研究室 担当教員／鈴木 健二 医学博士

生体情報制御学では、タンパク質のリン酸化とそれに関わる情報伝達分子の相互作用に焦点をあて、様々な疾患メカニズムや治療法の開発に繋がる研究を行う。具体的には、「肥満」と「糖尿病」をつなぐ脂肪細胞とマクロファージの相互作用の分子メカニズムを解明する研究や、複雑なシグナルネットワークに潜む制御システムを抽出してその制御原理を明らかにする研究、環境汚染物質が生体に及ぼす影響を解析する研究を行う。

細胞工学研究室 担当教員／高田 達之 農学博士

我々ヒトの体は、約 200 種類からなる 60 兆個の細胞により構成され、これらが 1 つのシステム(個体)として統合され、機能している。これらの基となった細胞、ゲノム情報は 1 つであり、発生の過程でこのような多種類、多数の細胞が生み出される。この分化過程には様々なシグナル伝達に関与し、エピジェネティックな遺伝子発現変化を生じさせている。また、iPS 細胞の確立により、初期化現象の解析も可能となってきた。細胞工学研究室では、細胞分化、初期化メカニズム解析の観点から、マウスおよび霊長類の ES、iPS 細胞を用いた生殖細胞分化、環境化学物質が幹細胞分化に与える影響、発生に伴う DNA メチル化の変動に焦点をあて、研究を展開している。

<薬物作用解析学分野>

薬効解析科学研究室 担当教員 / 北村 佳久 薬学博士

薬効解析科学研究室では、「脳」を対象とし、薬理的な研究を行っている。脳には、全身機能を調節する神経細胞とそれをサポートするグリア細胞(アストロサイト、ミクログリアなど)、栄養を供給する脳血管が存在し、お互いが協調しながら、脳内活動を営んでいる。しかし、老化、遺伝的原因、事故などにより脳のホメオスタシスが破綻したとき、アルツハイマー病、パーキンソン病、脳卒中(脳出血・脳梗塞)などの脳の病気が発症する。超少子高齢化社会を迎えた現代、

老化とともに発症頻度の高まる、このような疾患の治療薬開発は急務の課題であり、多くの製薬企業もこの分野に参入しているが、残念ながら、根本的治療が期待できる特効薬はない。薬効解析科学研究室では、実験動物(ラット・マウス・プラナリアなど)やヒト由来培養細胞を用いて脳疾患発症メカニズムの解析から創薬ターゲットの探索や薬物シードと考えられる薬物の作用機序の解明および創薬研究を展開している。

臨床薬理学研究室 担当教員 / 服部 尚樹 医学博士

薬物の適正使用は臨床薬学において重要なテーマである。本研究室では内分泌疾患における薬物の適正使用に関連した研究を行っている。高プロラクチン血症の治療にはドパミン作動薬が用いられるが、消化器症状などの副作用が強い。本研究室ではプロラクチンに対する自己抗体が原因であり、高プロラクチン血症の新たな原因となる「マクロプロラクチン血症」を見出した。その基礎的、臨床的研究を通して、本疾患に対する薬物治療の必要性について検討している。インスリンを使用している糖尿病患者で、インスリンに対する自己抗体ができる場合があり、インスリン抵抗性の原因になっている。本研究室ではインスリン自己抗体産生に対する基礎的、臨床的検討を行っており、*in vitro* で適正なインスリンへの変更の提案ができないか検討している。これらの研究は京都医療センターや神戸医療センターなどと共同で実施している。

2. カリキュラム概要

| | | |
|------------|------|---------------|
| 専門科目 | コア | 薬品分子創製化学特論 |
| | | 生体分子解析学特論 |
| | | 薬物動態解析学特論 |
| | | 生体機能薬学特論 |
| | | 薬物作用解析学特論 |
| | | 分析神経科学特論 |
| | | 生命有機化学特論 |
| | | 公衆衛生・国際保健特論 |
| | | 研究開発・知的財産特論 |
| | | 専門英語 |
| | 選択 | 創剤学特論 |
| | | 病原微生物学・感染症学特論 |
| | | 臨床治療学特論 |
| | | 天然薬物学特論 |
| | | 臨床副作用学特論 |
| | | 分子病態学特論 |
| | | 分子生物薬剤学特論 |
| | | 生理・構造生物学特論 |
| | | 幹細胞生物学特論 |
| | | 生活習慣病特論 |
| 医薬品安全評価学特論 | | |
| 医療情報分析学特論 | | |
| 自由科目 | 選択 | 技術者実践英語 |
| 薬科学研究科目 | 演習 | 演習1 |
| | | 演習2 |
| | | 演習3 |
| | | 演習4 |
| | 特別実験 | 特別実験1 |
| | | 特別実験2 |
| | | 特別実験3 |
| | | 特別実験4 |

薬科大学（薬学部）学科別一覧（平成29年度）

【国立】

| No | 大学名 | 6年制 | | 4年制 | |
|-------------------|-------|-------|-----|-----------|-----|
| | | 学科名 | 定員 | 学科名 | 定員 |
| 1 | 北海道大学 | 薬学科 | 30 | 薬科学科 | 50 |
| 2 | 東北大学 | 薬学科 | 20 | 創薬科学科 | 60 |
| 3 | 千葉大学 | 薬学科 | 40 | 薬科学科 | 40 |
| 4 | 東京大学 | 薬学科 | 8 | 薬科学科 | 72 |
| 5 | 富山大学 | 薬学科 | 55 | 創薬科学科 | 50 |
| 6 | 金沢大学 | 薬学類 | 35 | 創薬科学類 | 40 |
| 7 | 京都大学 | 薬学科 | 30 | 薬科学科 | 50 |
| 8 | 大阪大学 | 薬学科 | 25 | 薬科学科 | 55 |
| 9 | 岡山大学 | 薬学科 | 40 | 創薬科学科 | 40 |
| 10 | 広島大学 | 薬学科 | 38 | 薬科学科 | 22 |
| 11 | 徳島大学 | 薬学科 | 40 | 創製薬科学科 | 40 |
| 12 | 九州大学 | 臨床薬学科 | 30 | 創薬科学科 | 50 |
| 13 | 長崎大学 | 薬学科 | 40 | 薬科学科 | 40 |
| 14 | 熊本大学 | 薬学科 | 55 | 創薬・生命薬科学科 | 35 |
| 国立計 (14大学14学部) | | 14学科 | 486 | 14学科 | 644 |

【公立】

| No | 大学名 | 6年制 | | 4年制 | |
|-----------------|---------|-----|-----|--------|----|
| | | 学科名 | 定員 | 学科名 | 定員 |
| 15 | 岐阜薬科大学 | 薬学科 | 120 | — | — |
| 16 | 静岡県立大学 | 薬学科 | 80 | 薬科学科 | 40 |
| 17 | 名古屋市立大学 | 薬学科 | 60 | 生命薬科学科 | 40 |
| 公立計 (3大学3学部) | | 3学科 | 260 | 2学科 | 80 |

【私立】

| No | 大学名 | 6年制 | | 4年制 | |
|----|----------|-------|----------|------------|-----|
| | | 学科名 | 定員 | 学科名 | 定員 |
| 18 | 北海道医療大学 | 薬学科 | (10) 160 | — | — |
| 19 | 北海道薬科大学 | 薬学科 | 210 | — | — |
| 20 | 青森大学 | 薬学科 | 90 | — | — |
| 21 | 岩手医科大学 | 薬学科 | 140 | — | — |
| 22 | 東北医科薬科大学 | 薬学科 | 300 | 生命薬科学科 | 40 |
| 23 | いわき明星大学 | 薬学科 | 90 | — | — |
| 24 | 奥羽大学 | 薬学科 | 140 | — | — |
| 25 | 国際医療福祉大学 | 薬学科 | 180 | — | — |
| 26 | 高崎健康福祉大学 | 薬学科 | 90 | — | — |
| 27 | 城西大学 | 薬学科 | 250 | 薬科学科 | 50 |
| | | | | 医療栄養学科 | 100 |
| 28 | 日本薬科大学 | 薬学科 | 260 | 医療ビジネス薬科学科 | 90 |
| 29 | 城西国際大学 | 医療薬学科 | 130 | — | — |
| 30 | 千葉科学大学 | 薬学科 | 120 | 生命薬科学科 | 40 |
| 31 | 帝京平成大学 | 薬学科 | [2] 240 | — | — |
| 32 | 東京理科大学 | 薬学科 | 100 | 生命創薬科学科 | 100 |

| No | 大学名 | 6年制 | | 4年制 | |
|-------------------|------------------------|---------|---------------|----------|-----|
| | | 学科名 | 定員 | 学科名 | 定員 |
| 33 | 東邦大学 | 薬学科 | 220 | — | — |
| 34 | 日本大学 | 薬学科 | 244 | — | — |
| 35 | 北里大学 | 薬学科 | 260 | 生命創薬科学科 | 35 |
| 36 | 慶應義塾大学 | 薬学科 | 150 | 薬科学科 | 60 |
| 37 | 昭和大学 | 薬学科 | 200 | — | — |
| 38 | 昭和薬科大学 | 薬学科 | 240 | — | — |
| 39 | 東京薬科大学 | 医療薬学科 | 140 | — | — |
| | | 医療薬物薬学科 | 140 | — | — |
| | | 医療衛生薬学科 | 140 | — | — |
| 40 | 星薬科大学 | 薬学科 | 260 | 創薬科学科 | 20 |
| 41 | 武蔵野大学 | 薬学科 | 145 | — | — |
| 42 | 明治薬科大学 | 薬学科 | 300 | 生命創薬科学科 | 60 |
| 43 | 帝京大学 | 薬学科 | 320 | — | — |
| 44 | 横浜薬科大学 | 健康薬学科 | 60 | 薬科学科 | 30 |
| | | 漢方薬学科 | 120 | — | — |
| | | 臨床薬学科 | 160 | — | — |
| 45 | 新潟薬科大学 | 薬学科 | 180 | — | — |
| 46 | 北陸大学 | 薬学科 | 220 | — | — |
| 47 | 愛知学院大学 | 医療薬学科 | 145 | — | — |
| 48 | 金城学院大学 | 薬学科 | 150 | — | — |
| 49 | 名城大学 | 薬学科 | 265 | — | — |
| 50 | 鈴鹿医療科学大学 | 薬学科 | 100 | — | — |
| 51 | 京都薬科大学 | 薬学科 | 360 | — | — |
| 52 | 同志社女子大学 | 医療薬学科 | 120 | — | — |
| 53 | 立命館大学 | 薬学科 | 100 | 創薬科学科 | 60 |
| 54 | 大阪大谷大学 | 薬学科 | 140 | — | — |
| 55 | 大阪薬科大学 | 薬学科 | [5] 270 | 薬科学科 | 30 |
| 56 | 近畿大学 | 医療薬学科 | 150 | 創薬科学科 | 40 |
| 57 | 摂南大学 | 薬学科 | 220 | — | — |
| 58 | 神戸学院大学 | 薬学科 | 250 | — | — |
| 59 | 神戸薬科大学 | 薬学科 | 270 | — | — |
| 60 | 兵庫医療大学 | 医療薬学科 | 150 | — | — |
| 61 | 姫路獨協大学 | 医療薬学科 | 100 | — | — |
| 62 | 武庫川女子大学 | 薬学科 | 210 | 健康生命薬科学科 | 40 |
| 63 | 就実大学 | 薬学科 | 120 | — | — |
| 64 | 広島国際大学 | 薬学科 | 120 | — | — |
| 65 | 福山大学 | 薬学科 | 150 | — | — |
| 66 | 安田女子大学 | 薬学科 | 120 | — | — |
| 67 | 徳島文理大学(薬学部) (香川薬学部) | 薬学科 | 180 | — | — |
| | | 薬学科 | 90 | — | — |
| 68 | 松山大学 | 医療薬学科 | 100 | — | — |
| 69 | 第一薬科大学 | 薬学科 | 113 | — | — |
| | | 漢方薬学科 | 60 | — | — |
| 70 | 福岡大学 | 薬学科 | 230 | — | — |
| 71 | 長崎国際大学 | 薬学科 | 120 | — | — |
| 72 | 崇城大学 | 薬学科 | 120 | — | — |
| 73 | 九州保健福祉大学 | 薬学科 | [3] [3] 140 | 動物生命薬科学科 | 40 |
| 私立計 (56大学57学部) | | 62学科 | 10,662 | 16学科 | 835 |
| | | | [10] (10) [3] | | |

| | | | | |
|---------------------|------|---------------|------|-------|
| 国公立合計 (73大学74学部) | 79学科 | 11,408 | 32学科 | 1,559 |
| | | [10] (10) [3] | | |

注) []は第2年次編入学定員、()は第3年次編入学定員、
{ }は第4年次編入学定員 でそれぞれ外数である。

薬学系大学院専攻別一覧（平成29年度）

【国立】

| No. | 大学名 | 研究科等名 | 6年制学科に基礎を置く専攻 | | | 4年制学科に基礎を置く専攻 | | | |
|-----|---------|------------|---------------------------------------------------|------------------------------|------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------|
| | | | 専攻名 | 入学定員 | 修業年限 | 専攻名 | 課程区分 | 入学定員 | 修業年限 |
| 1 | 北海道大学 | 生命科学院 | 臨床薬学専攻 | 4 | 4 | 生命科学専攻 | 博士 修士 | ※ 46 ※ 132 | 3 2 |
| 2 | 東北大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 4 | 4 | 分子薬科学専攻 生命薬科学専攻 | 博士 修士 | 8 22 10 32 | 3 2 3 2 |
| 3 | 千葉大学 | 医学薬学府 | 先端医学薬学専攻 | ※ 108 | 4 | 先端創薬科学専攻 総合薬品科学専攻 | 博士 修士 | 15 50 | 3 2 |
| 4 | 東京大学 | 薬学系研究科 | 薬学専攻 | 10 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 50 100 | 3 2 |
| 5 | 富山大学 | 医学薬学教育部 | 薬学専攻 | 4 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 8 35 | 3 2 |
| 6 | 金沢大学 | 医薬保健学総合研究科 | 薬学専攻 | 4 | 4 | 創薬科学専攻 | 博士 修士 | 11 38 | 3 2 |
| 7 | 名古屋大学 | 創薬科学研究科 | | | | (独立) 基盤創薬学専攻 | 博士 修士 | 10 32 | 3 2 |
| 8 | 名古屋工業大学 | 工学研究科 | | | | (独立) 共同ナノメディシン科学専攻 | 博士 | 3 | 3 |
| 9 | 京都大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 15 | 4 | 薬科学専攻 医薬創成情報科学専攻 | 博士 修士 博士 修士 | 22 50 7 14 | 3 2 3 2 |
| 10 | 大阪大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 10 | 4 | 創成薬学専攻 | 博士 修士 | 20 75 | 3 2 |
| 11 | 岡山大学 | 医歯薬学総合研究科 | 生体制御科学専攻 病態制御科学専攻 機能再生・再建科学専攻 社会環境生命科学専攻 | ※ 25 ※ 62 ※ 28 ※ 13 | 4 4 4 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 10 40 | 3 2 |
| 12 | 広島大学 | 医歯薬保健学研究科 | 医歯薬学専攻 | ※ 97 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 3 18 | 3 2 |
| 13 | 徳島大学 | 薬科学教育部 | 薬学専攻 | 4 | 4 | 創薬科学専攻 | 博士 修士 | 10 35 | 3 2 |
| 14 | 九州大学 | 薬学府 | 臨床薬学専攻 | 5 | 4 | 創薬科学専攻 | 博士 修士 | 12 55 | 3 2 |
| 15 | 長崎大学 | 医歯薬学総合研究科 | 新興感染症病態制御学系専攻 医療科学専攻 放射線医療科学専攻 | ※ 20 ※ 60 ※ 5 | 4 4 4 | 生命薬科学専攻 | 博士 修士 | 10 36 | 3 2 |
| 16 | 熊本大学 | 薬学教育部 | 医療薬学専攻 | 8 | 4 | 創薬・生命薬科学専攻 | 博士 修士 | 10 35 | 3 2 |

【公立】

| No. | 大学名 | 研究科等名 | 6年制学科に基礎を置く専攻 | | | 4年制学科に基礎を置く専攻 | | | |
|-----|---------|------------|---------------|------|------|---------------------------|----------------|-----------------|-------------|
| | | | 専攻名 | 入学定員 | 修業年限 | 専攻名 | 課程区分 | 入学定員 | 修業年限 |
| 17 | 岐阜薬科大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 5 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 5 35 | 3 2 |
| 18 | 静岡県立大学 | 薬食生命科学総合学府 | 薬学専攻 | 5 | 4 | 薬科学専攻 薬食生命科学専攻 | 博士 修士 | 11 30 ※ 5 | 3 2 3 |
| 19 | 名古屋市立大学 | 薬学研究科 | 医療機能薬学専攻 | 10 | 4 | 創薬生命科学専攻 共同ナノメディシン科学専攻 | 博士 修士 博士 | 8 42 4 | 3 2 3 |

【私立】

| No. | 大学名 | 研究科等名 | 6年制学科に基礎を置く専攻 | | | 4年制学科に基礎を置く専攻 | | | |
|-----|----------|-----------------|---------------|------|------|---------------|----------|---------|--------|
| | | | 専攻名 | 入学定員 | 修業年限 | 専攻名 | 課程区分 | 入学定員 | 修業年限 |
| 20 | 北海道医療大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | (独立)生命薬科学専攻 | 修士 | 3 | 2 |
| 21 | 北海道薬科大学 | 薬学研究科 | 臨床薬学専攻 | 3 | 4 | | | | |
| 22 | 岩手医科大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 3 | 4 | (独立)薬科学専攻 | 修士 | 3 | 2 |
| 23 | 東北医科薬科大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 3 20 | 3 2 |
| 24 | 国際医療福祉大学 | 薬学研究科 薬科学研究科 | 医療・生命薬学専攻 | 5 | 4 | (独立)生命薬科学専攻 | 修士 | 5 | 2 |
| 25 | 高崎健康福祉大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | | | | |
| 26 | 城西大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 3 20 | 3 2 |
| 27 | 城西国際大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 3 | 4 | 医療栄養学専攻 | 修士 | 20 | 2 |
| 28 | 千葉科学大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 5 10 | 3 2 |
| 29 | 帝京平成大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 5 | 4 | | | | |
| 30 | 東京理科大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 5 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 5 90 | 3 2 |
| 31 | 東邦大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 5 | 4 | (独立)薬科学専攻 | 修士 | 10 | 2 |
| 32 | 日本大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 5 | 4 | | | | |
| 33 | 北里大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 6 15 | 3 2 |
| 34 | 慶應義塾大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 5 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 3 40 | 3 2 |
| 35 | 昭和大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 8 | 4 | | | | |
| 36 | 昭和薬科大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | (独立)薬科学専攻 | 修士 | 5 | 2 |
| 37 | 東京薬科大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 10 | 4 | (独立)薬科学専攻 | 修士 | 5 | 2 |
| 38 | 星薬科大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 5 | 4 | 総合薬科学専攻 | 博士 修士 | 5 16 | 3 2 |
| 39 | 武蔵野大学 | 薬科学研究科 | | | | (独立)薬科学専攻 | 博士 修士 | 5 5 | 2 2 |
| 40 | 明治薬科大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 5 | 4 | 生命創薬科学専攻 | 博士 修士 | 5 20 | 3 2 |
| 41 | 帝京大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 8 | 4 | | | | |
| 42 | 新潟薬科大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | | | | |
| 43 | 愛知学院大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 3 | 4 | | | | |
| 44 | 名城大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 4 | 4 | | | | |
| 45 | 鈴鹿医療科学大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 2 | 4 | | | | |
| 46 | 京都薬科大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 10 | 4 | (独立)薬科学専攻 | 博士 修士 | 2 5 | 3 2 |
| 47 | 同志社女子大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 4 | 4 | | | | |
| 48 | 立命館大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | | | | |
| 49 | 大阪薬科大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 5 20 | 3 2 |
| 50 | 近畿大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 2 15 | 3 2 |
| 51 | 摂南大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 4 | 4 | | | | |
| 52 | 神戸学院大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | | | | |
| 53 | 神戸薬科大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 3 | 4 | (独立)薬科学専攻 | 修士 | 5 | 2 |
| 54 | 兵庫医療大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 3 | 4 | | | | |
| 55 | 武庫川女子大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 2 | 4 | 薬科学専攻 | 博士 修士 | 2 30 | 3 2 |
| 56 | 就実大学 | 医療薬学研究科 | 疾病治療薬学専攻 | 4 | 4 | | | | |
| 57 | 広島国際大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 2 | 4 | | | | |
| 58 | 福山大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 3 | 4 | | | | |
| 59 | 安田女子大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 2 | 4 | | | | |
| 60 | 徳島文理大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 6 | 4 | | | | |
| 61 | 松山大学 | 医療薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 3 | 4 | | | | |
| 62 | 福岡大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 6 | 4 | (独立)健康薬科学専攻 | 修士 | 5 | 2 |
| 63 | 長崎国際大学 | 薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 3 | 4 | | | | |
| 64 | 崇城大学 | 薬学研究科 | 薬学専攻 | 5 | 4 | | | | |
| 65 | 九州保健福祉大学 | 医療薬学研究科 | 医療薬学専攻 | 4 | 4 | | | | |

- 入学定員の左に※とあるものは、医学等多分野に係る専攻であり、薬学系は内数
- 専攻名の左に(独立)とあるものは、基礎となる薬学系の4年制学科をもたない独立専攻

学生の確保の見直し等に関連するアンケート送付先企業一覧

| No. | 協会名 | 関西エリア | 会社名 | 住所 |
|-----|----------|-------|----------------------|----------------------------------|
| 1 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 日野薬品工業株式会社 | 滋賀県蒲生郡日野町上野田119 |
| 2 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 福地製薬株式会社 | 滋賀県蒲生郡日野町寺尻824 |
| 3 | 滋賀県薬業協会 | ○ | ピアック株式会社 | 蒲生郡日野町寺尻1008 |
| 4 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 株式会社岡平製薬所 | 滋賀県蒲生郡日野町村井1246 |
| 5 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 小林薬工株式会社 | 滋賀県蒲生郡日野町大窪668 |
| 6 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 藤本製薬株式会社 彦根工場 | 滋賀県愛知郡愛荘町長野2202-1 |
| 7 | 滋賀県薬業協会 | ○ | コニシ株式会社滋賀工場エタノール製造部 | 滋賀県甲賀市水口町笹ヶ丘1-12 |
| 8 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 日新製薬株式会社 | 滋賀県甲賀市水口町宮の前2-62 |
| 9 | 滋賀県薬業協会 | ○ | サイアヤファーマ株式会社 長浜工場 | 滋賀県長浜市田村町1332-1 |
| 10 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 株式会社近江兄弟社 | 滋賀県近江八幡市魚屋町元29 |
| 11 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 山善製薬株式会社 滋賀工場 | 滋賀県近江八幡市江頭町種の下247-1 |
| 12 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 参天製薬株式会社 滋賀工場 | 滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪348-3 |
| 13 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 森下仁丹株式会社 滋賀工場 | 滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪960-12 |
| 14 | 滋賀県薬業協会 | ○ | ワダカルシウム製薬株式会社 滋賀工場 | 滋賀県犬上郡多賀町大字四手諏訪510-10 |
| 15 | 滋賀県薬業協会 | ○ | マルホ株式会社 彦根工場 | 滋賀県彦根市高宮町2763 |
| 16 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 有川製薬株式会社 | 滋賀県彦根市鳥居本町425 |
| 17 | 滋賀県薬業協会 | ○ | アストラゼネカ株式会社 米原工場 | 滋賀県米原市三吉215-31 |
| 18 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 昭和化学工業株式会社 | 滋賀県甲賀市甲賀町大原市場157-9 |
| 19 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 大正薬品工業株式会社 | 滋賀県甲賀市甲賀町大原市場3 |
| 20 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 大昭製薬株式会社 | 滋賀県甲賀市甲賀町大原市場168 |
| 21 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 近江製薬株式会社 | 滋賀県甲賀市甲賀町田堵野935 |
| 22 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 株式会社コーガアイトープ | 滋賀県甲賀市甲賀町神保53-6 |
| 23 | 滋賀県薬業協会 | ○ | バイエル薬品株式会社 滋賀工場 | 滋賀県甲賀市甲賀町鳥居野121-1 |
| 24 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 株式会社アーケレフアクトリー | 滋賀県甲賀市甲南町柑子1480 |
| 25 | 滋賀県薬業協会 | ○ | クオリテックファーマ株式会社 滋賀工場 | 滋賀県野洲市三上2195-1 |
| 26 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 伊丹製薬株式会社 | 滋賀県高島市今津町下弘部280 |
| 27 | 滋賀県薬業協会 | ○ | 東洋紡株式会社 大津医薬工場 | 滋賀県大津市聖田2丁目1番1号 |
| 28 | 日本製薬工業協会 | | 久光製薬株式会社 | 佐賀県鳥栖市田代大宮町408 |
| 29 | 日本製薬工業協会 | | キッセイ薬品工業株式会社 | 長野県松本市芳野19-48 |
| 30 | 日本製薬工業協会 | | 大正製薬株式会社 | 東京都豊島区高田3-24-1 |
| 31 | 日本製薬工業協会 | | サノフィ株式会社 | 東京都新宿区西新宿3-20-2(東京オペラシティタワー) |
| 32 | 日本製薬工業協会 | | テルモ株式会社 | 東京都新宿区西新宿3-20-2(東京オペラシティタワー) |
| 33 | 日本製薬工業協会 | | プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社 | 東京都新宿区西新宿6-5-1(新宿アイランドタワー) |
| 34 | 日本製薬工業協会 | | 持田製薬株式会社 | 東京都新宿区四谷1-7 |
| 35 | 日本製薬工業協会 | | 富山化学工業株式会社 | 東京都新宿区西新宿3-2-5(富山化学ビル) |
| 36 | 日本製薬工業協会 | | 株式会社ミノファゲン製薬 | 東京都新宿区西新宿3-2-11(新宿三井ビルディング2号館) |
| 37 | 日本製薬工業協会 | | ユーシービージャパン株式会社 | 東京都新宿区西新宿8-17-1(新宿グランドタワー) |
| 38 | 日本製薬工業協会 | | メルクセローノ株式会社 | 東京都目黒区下目黒1-8-1(アルコタワー) |
| 39 | 日本製薬工業協会 | | ファイザー株式会社 | 渋谷区代々木3-22-7(新宿文化クイントビル) |
| 40 | 日本製薬工業協会 | | グラクソ・スミスクライン株式会社 | 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15(GSKビル) |
| 41 | 日本製薬工業協会 | | 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 | 東京都品川区大崎2-1-1 Think Park Tower |
| 42 | 日本製薬工業協会 | | 株式会社ポーラファルマ | 東京都品川区西五反田8-9-5 |
| 43 | 日本製薬工業協会 | | 科研製薬株式会社 | 東京都文京区本駒込2-28-8 |
| 44 | 日本製薬工業協会 | | エーザイ株式会社 | 東京都文京区小石川4-6-10 |
| 45 | 日本製薬工業協会 | | あすか製薬株式会社 | 東京都港区芝浦2-5-1 |
| 46 | 日本製薬工業協会 | | クラシエ製薬株式会社 | 東京都港区海岸3-20-20 |
| 47 | 日本製薬工業協会 | | マイランEPD合同会社 | 東京都港区三田3-5-27 |
| 48 | 日本製薬工業協会 | | アツヴィ合同会社 | 東京都港区三田3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館 |
| 49 | 日本製薬工業協会 | | 株式会社ツムラ | 東京都港区赤坂2-17-11 |
| 50 | 日本製薬工業協会 | | 株式会社ヤクルト本社 | 東京都港区東新橋1丁目1番19号 |
| 51 | 日本製薬工業協会 | | 日本たばこ産業株式会社 | 東京都港区虎ノ門2-2-1(JTBビル) |
| 52 | 日本製薬工業協会 | | 日本アルコン株式会社 | 東京都港区虎ノ門1-23-1(虎ノ門ヒルズ森タワー) |
| 53 | 日本製薬工業協会 | | ノバルティス ファーマ株式会社 | 東京都港区虎ノ門1-23-1 |
| 54 | 日本製薬工業協会 | | バクスタルタ株式会社 | 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ20階 |
| 55 | 日本製薬工業協会 | | Meiji Seika ファルマ株式会社 | 東京都中央区京橋2-4-16 |
| 56 | 日本製薬工業協会 | | あゆみ製薬株式会社 | 東京都中央区銀座4-12-15(歌舞伎座タワー) |
| 57 | 日本製薬工業協会 | | EAファーマ株式会社 | 東京都中央区入船2-1-1 |
| 58 | 日本製薬工業協会 | | トリアイコー株式会社 | 東京都中央区八丁堀3-10-6 |
| 59 | 日本製薬工業協会 | | 鳥居薬品株式会社 | 東京都中央区日本橋本町3-4-1(トイ日本橋ビル) |
| 60 | 日本製薬工業協会 | | 興和株式会社 | 東京都中央区日本橋本町3-4-14 |
| 61 | 日本製薬工業協会 | | 第一三共株式会社 | 東京都中央区日本橋本町3-5-1 |
| 62 | 日本製薬工業協会 | | アステラス製薬株式会社 | 東京都中央区日本橋本町2-5-1 |
| 63 | 日本製薬工業協会 | | セリア新薬工業株式会社 | 東京都中央区日本橋小舟町10-11 |
| 64 | 日本製薬工業協会 | | わかもと製薬株式会社 | 東京都中央区日本橋本町2-2-2 |
| 65 | 日本製薬工業協会 | | 中外製薬株式会社 | 東京都中央区日本橋室町2-1-1 |
| 66 | 日本製薬工業協会 | | MSD株式会社 | 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア |
| 67 | 日本製薬工業協会 | | 大塚製薬株式会社 | 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア |
| 68 | 日本製薬工業協会 | | 大鵬薬品工業株式会社 | 東京都千代田区神田錦町1-27 |
| 69 | 日本製薬工業協会 | | 杏林製薬株式会社 | 東京都千代田区神田駿河台4-6(御茶ノ水ソラシティ) |
| 70 | 日本製薬工業協会 | | 旭化成ファーマ株式会社 | 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビルディング |
| 71 | 日本製薬工業協会 | | ヤンセンファーマ株式会社 | 東京都千代田区西神田3-5-2 |
| 72 | 日本製薬工業協会 | | 日本ケミファ株式会社 | 東京都千代田区岩本町2-2-3 |
| 73 | 日本製薬工業協会 | | 帝人ファーマ株式会社 | 東京都千代田区霞ヶ関3-2-1 霞ヶ関コモンゲート西館 |
| 74 | 日本製薬工業協会 | | 協和発酵キリン株式会社 | 東京都千代田区大手町1-6-1(大手町ビル) |
| 75 | 日本製薬工業協会 | | 生化学工業株式会社 | 東京都千代田区丸の内1-6-1 |
| 76 | 日本製薬工業協会 | | 日本化薬株式会社 | 東京都千代田区丸の内2-1-1(明治安田生命ビル) |
| 77 | 日本製薬工業協会 | | ノボ ノルディスタ ファーマ株式会社 | 東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル |
| 78 | 大阪医薬品協会 | | 協同薬品工業株式会社 | 山形県長井市本町2-10-6 |
| 79 | 大阪医薬品協会 | | ファーマバック株式会社 | 富山県富山市小中163 |
| 80 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社陽進堂 | 富山県富山市婦中町萩島3697-8 |
| 81 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社ハナケイ製薬 | 富山県高岡市中田4576 |
| 82 | 大阪医薬品協会 | | 協和ファーマケミカル株式会社 | 富山県高岡市長慶寺530 |
| 83 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社廣賢堂 | 富山県富山市梅沢町2-9-1 |
| 84 | 大阪医薬品協会 | | 前田薬品工業株式会社 | 富山県富山市向新庄町1-18-47 |
| 85 | 大阪医薬品協会 | | リードケミカル株式会社 | 富山県富山市日俣77-3 |
| 86 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社池田模範堂 | 富山県中新川郡上市町神田16 |
| 87 | 大阪医薬品協会 | | 辰巳化学株式会社 | 石川県金沢市久安3-406 |
| 88 | 大阪医薬品協会 | | 小林化工株式会社 | 福井県あわら市矢地5-15 |
| 89 | 大阪医薬品協会 | | レキオファーマ株式会社 | 沖縄県那覇市松山12-1-12 |

| No. | 協会名 | 関西エリア | 会社名 | 住所 |
|-----|---------|-------|---------------------|------------------------------------|
| 90 | 大阪医薬品協会 | | 祐徳薬品工業株式会社 | 佐賀県鹿島市大字納富分2596-1 |
| 91 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社大石膏盛堂 | 佐賀県鳥栖市本町1-933 |
| 92 | 大阪医薬品協会 | | 大成薬品工業株式会社 | 福岡県筑後市大字熊野998 |
| 93 | 大阪医薬品協会 | | 松田医薬品株式会社 | 高知県高知市塚ノ原8 |
| 94 | 大阪医薬品協会 | | シー・エイチ・オー新薬株式会社 | 徳島県徳島市国府町府中439 |
| 95 | 大阪医薬品協会 | | 長生堂製薬株式会社 | 徳島県徳島市国府町府中92 |
| 96 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社大塚製薬工場 | 徳島県鳴門市撫養町立岩字茶原115 |
| 97 | 大阪医薬品協会 | | 富田製薬株式会社 | 徳島県鳴門市瀬戸町明神字丸山85-1 |
| 98 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社アドレックス | 香川県東かがわ市西山431-7 |
| 99 | 大阪医薬品協会 | | 帝國製薬株式会社 | 香川県東かがわ市三本松567 |
| 100 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社伏見製薬所 | 香川県丸亀市中津町1676 |
| 101 | 大阪医薬品協会 | | 日本歯科薬品株式会社 | 山口県下関市西入江町2-5 |
| 102 | 大阪医薬品協会 | | ホンノ一薬品株式会社 | 山口県岩国市岩国1-13-12 |
| 103 | 大阪医薬品協会 | | 二反田薬品工業株式会社 | 広島県呉市吉浦新町2-5-2 |
| 104 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社ジェイ・エム・エス | 広島県広島市中区加古町12-17 |
| 105 | 大阪医薬品協会 | | 丸善製薬株式会社 | 広島県尾道市向東町14703-10 |
| 106 | 大阪医薬品協会 | | マナック株式会社 | 広島県福山市箕沖町92 |
| 107 | 大阪医薬品協会 | | 備前化成株式会社 | 岡山県赤磐市徳富363 |
| 108 | 大阪医薬品協会 | | 岡山大鶴薬品株式会社 | 岡山県備前市久々井字沖1775-1 |
| 109 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社林原 | 岡山市北区下石井1-1-3(日本生命岡山第2ビル新館) |
| 110 | 大阪医薬品協会 | ○ | エイチビィアイ株式会社 | 兵庫県宍粟市山崎町上比地650-1 |
| 111 | 大阪医薬品協会 | ○ | ナガセ医薬品株式会社 | 兵庫県伊丹市千僧4-323 |
| 112 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社大阪合成有機化学研究所 | 兵庫県西宮市西宮浜1-1-2 |
| 113 | 大阪医薬品協会 | ○ | シオエ製薬株式会社 | 兵庫県尼崎市潮江3-1-11 |
| 114 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社ナードケミカルズ | 兵庫県尼崎市西長洲町2-6-1 |
| 115 | 大阪医薬品協会 | ○ | 皇漢堂製薬株式会社 | 兵庫県尼崎市長洲本通2-8-27 |
| 116 | 大阪医薬品協会 | ○ | JCRファーマ株式会社 | 兵庫県芦屋市春日町3-19 |
| 117 | 大阪医薬品協会 | ○ | ムネ製薬株式会社 | 兵庫県淡路市尾崎859 |
| 118 | 大阪医薬品協会 | ○ | ビオフェルミン製薬株式会社 | 兵庫県神戸市長田区三番町5-5 |
| 119 | 大阪医薬品協会 | ○ | 摩耶堂製薬株式会社 | 兵庫県神戸市西区玉津町居住65-1 |
| 120 | 大阪医薬品協会 | ○ | 日本イライリール株式会社 | 兵庫県神戸市中央区磯上通7-1-5(三宮プラザビル) |
| 121 | 大阪医薬品協会 | ○ | 太虎精堂製薬株式会社 | 兵庫県神戸市中央区吾妻通2-1-27 |
| 122 | 大阪医薬品協会 | ○ | シスメックス株式会社 | 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 |
| 123 | 大阪医薬品協会 | ○ | アスピオファーマ株式会社 | 神戸市中央区港島南町6-4-3 |
| 124 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社オプテクス | 兵庫県神戸市中央区港島南町 5-2-4 |
| 125 | 大阪医薬品協会 | ○ | 公益財団法人先端医療振興財団 | 兵庫県神戸市中央区港島南町2-2 |
| 126 | 大阪医薬品協会 | ○ | 和歌山製薬株式会社 | 和歌山市太田二丁目8-31 |
| 127 | 大阪医薬品協会 | ○ | 東和製薬株式会社 | 和歌山県紀の川市貴志川町丸柄1229 |
| 128 | 大阪医薬品協会 | ○ | 至誠堂製薬株式会社 | 奈良県御所市茅原220-1 |
| 129 | 大阪医薬品協会 | ○ | 大同薬品工業株式会社 | 奈良県葛城市新村214-1 |
| 130 | 大阪医薬品協会 | ○ | 金陽製薬株式会社 | 奈良県五條市住川町1420 |
| 131 | 大阪医薬品協会 | ○ | ホンエヌ製薬株式会社 | 奈良県五條市住川町1380 |
| 132 | 大阪医薬品協会 | ○ | 大峰堂薬品工業株式会社 | 奈良県大和高田市大字根成柿574 |
| 133 | 大阪医薬品協会 | ○ | 佐藤薬品工業株式会社 | 奈良県橿原市観音寺町9-2 |
| 134 | 大阪医薬品協会 | ○ | 高市製薬株式会社 | 奈良県高市郡明日香村野口10 |
| 135 | 大阪医薬品協会 | ○ | 天藤製薬株式会社 | 京都府福知山市菅尾町995 |
| 136 | 大阪医薬品協会 | ○ | 武田ヘルスケア株式会社 | 京都府福知山市長田野町2-21 |
| 137 | 大阪医薬品協会 | ○ | 日東薬品工業株式会社 | 京都府向日市上植野町南開35-3 |
| 138 | 大阪医薬品協会 | ○ | ビタエックス薬品工業株式会社 | 京都市伏見区竹田向代町7 |
| 139 | 大阪医薬品協会 | ○ | 理研化学工業株式会社 | 京都市伏見区深草向原町48 |
| 140 | 大阪医薬品協会 | ○ | 国立大学法人 京都大学IPS細胞研究所 | 京都市左京区聖護院川原町53 |
| 141 | 大阪医薬品協会 | ○ | 京都薬品工業株式会社 | 京都市中京区西ノ京月輪町38 |
| 142 | 大阪医薬品協会 | ○ | 日本新薬株式会社 | 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14 |
| 143 | 大阪医薬品協会 | ○ | 大蔵製薬株式会社 | 京都市南区東九条柳下町66 |
| 144 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社三洋化学研究所 | 大阪府堺市美原区多治井148-1 |
| 145 | 大阪医薬品協会 | ○ | ニチバン株式会社 大阪工場 | 大阪府藤井寺市北園2-3-18 |
| 146 | 大阪医薬品協会 | ○ | 藤本製薬株式会社 | 大阪府松原市西大塚1-3-40 |
| 147 | 大阪医薬品協会 | ○ | エフビー株式会社 | 大阪府松原市西大塚1-3-40 |
| 148 | 大阪医薬品協会 | ○ | 小西製薬株式会社 | 大阪府東大阪市上石切町2-1309 |
| 149 | 大阪医薬品協会 | ○ | 八代製薬株式会社 | 大阪府東大阪市石田下島10-2 |
| 150 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社大阪製薬 | 大阪府東大阪市高井田本通3-2-4 |
| 151 | 大阪医薬品協会 | ○ | 井藤漢方製薬株式会社 | 大阪府東大阪市長田東2-1-1 |
| 152 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社片山製薬所 | 大阪府枚方市招提町近1-12-3 |
| 153 | 大阪医薬品協会 | ○ | 東和薬品株式会社 | 大阪府門真市新橋町2-11 |
| 154 | 大阪医薬品協会 | ○ | ピタカイン製薬株式会社 | 大阪府守口市橋波西之町2-5-16 |
| 155 | 大阪医薬品協会 | ○ | ザンスター株式会社 | 大阪府高槻市朝日町3-1 |
| 156 | 大阪医薬品協会 | ○ | 日本たばこ産業株式会社医薬総合研究所 | 大阪府高槻市紫町1-1 |
| 157 | 大阪医薬品協会 | ○ | 甲南化工株式会社 | 大阪府高槻市中川町5-21 |
| 158 | 大阪医薬品協会 | ○ | アンジェス MG株式会社 | 大阪府茨木市彩都あさぎ7-7-15(彩都ハイオンキューベータ) |
| 159 | 大阪医薬品協会 | ○ | エムジーファーマ株式会社 | 大阪府茨木市彩都あさぎ7-7-25 |
| 160 | 大阪医薬品協会 | ○ | 大成化工株式会社 | 大阪府茨木市藤の里2-11-6 |
| 161 | 大阪医薬品協会 | ○ | 白石薬品株式会社 | 大阪府茨木市五日市1-10-33 |
| 162 | 大阪医薬品協会 | ○ | シオノギ分析センター株式会社 | 大阪府摂津市三島2-5-1 |
| 163 | 大阪医薬品協会 | ○ | 一般財団法人大阪微生物病研究会 | 大阪府吹田市山田丘3-1 |
| 164 | 大阪医薬品協会 | ○ | DSファーマバイオメディカル株式会社 | 大阪府吹田市江坂町2-1-43 |
| 165 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社カーヤ | 大阪府吹田市垂水町3-4-11 |
| 166 | 大阪医薬品協会 | ○ | 昭和化工株式会社 | 大阪府吹田市芳野町18-23 |
| 167 | 大阪医薬品協会 | ○ | 日本純良薬品株式会社 | 大阪府吹田市西御旅町5-58 |
| 168 | 大阪医薬品協会 | ○ | 鶴原製薬株式会社 | 大阪府池田市豊島北1-16-1 |
| 169 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社ペプチド研究所 | 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目2番9号 |
| 170 | 大阪医薬品協会 | ○ | 三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 | 大阪府豊中市三和町1-1-11 |
| 171 | 大阪医薬品協会 | ○ | 三國製薬工業株式会社 | 大阪府豊中市神州町2-35 |
| 172 | 大阪医薬品協会 | ○ | ナガノサイエンス株式会社 | 大阪府豊中市新千里東町1-4-2(千里ライフサイエンスセンタービル) |
| 173 | 大阪医薬品協会 | ○ | 米田薬品株式会社 | 大阪市浪速区塩草3-2-2 |
| 174 | 大阪医薬品協会 | ○ | 大阪化成株式会社 | 大阪市西淀川区中島2-6-11 |
| 175 | 大阪医薬品協会 | ○ | 兼一薬品工業株式会社 | 大阪市西淀川区船島3-5-23 |
| 176 | 大阪医薬品協会 | ○ | 生晃養薬品株式会社 | 大阪市西淀川区船里2-3-28 |
| 177 | 大阪医薬品協会 | ○ | マトロニックファーマダネック株式会社 | 大阪府大阪市福島区福島7-20-1(KM西梅田ビル) |
| 178 | 大阪医薬品協会 | ○ | 大幸薬品株式会社 | 大阪府大阪市西区西本町1-4-1 |
| 179 | 大阪医薬品協会 | ○ | 石原産業株式会社 | 大阪市西区江戸堀1-3-15 |
| 180 | 大阪医薬品協会 | ○ | ダンヘルスケア株式会社 | 大阪市西区土佐堀1-4-11(金島土佐堀ビル) |

| No. | 協会名 | 関西エリア | 会社名 | 住所 |
|-----|---------|-------|----------------------------|-------------------------------------|
| 181 | 大阪医薬品協会 | ○ | サラヤ株式会社 | 大阪市東住吉区湯里2-2-8 |
| 182 | 大阪医薬品協会 | ○ | 全星薬品工業株式会社 | 大阪市阿倍野区旭町1-2-7(あべのメディックス) |
| 183 | 大阪医薬品協会 | ○ | 高砂薬業株式会社 | 大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2 |
| 184 | 大阪医薬品協会 | ○ | ロート製薬株式会社 | 大阪市生野区箕西1-8-1 |
| 185 | 大阪医薬品協会 | ○ | 稲畑産業株式会社 | 大阪市中央区南船場1-15-14 |
| 186 | 大阪医薬品協会 | ○ | 小野薬品工業株式会社 | 大阪市中央区久太郎町1-8-2 |
| 187 | 大阪医薬品協会 | ○ | 上野製薬株式会社 | 大阪市中央区高麗橋2-4-8 |
| 188 | 大阪医薬品協会 | ○ | 大日本住友製薬株式会社 | 大阪市中央区道修町2-6-8 |
| 189 | 大阪医薬品協会 | ○ | 興和株式会社大阪支店 | 大阪市中央区淡路町2-3-5 |
| 190 | 大阪医薬品協会 | ○ | 田辺製薬販売株式会社 | 大阪市中央区道修町3-2-10 |
| 191 | 大阪医薬品協会 | ○ | 田辺三菱製薬株式会社 | 大阪市中央区道修町3-2-10 |
| 192 | 大阪医薬品協会 | ○ | 吉富薬品株式会社 | 大阪市中央区道修町3-2-10 |
| 193 | 大阪医薬品協会 | ○ | 常盤薬品工業株式会社 | 大阪市中央区安土町3-5-12(御堂筋安土町ビル) |
| 194 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社メディサイエンスプラニング 大阪支店 | 大阪市中央区平野町三丁目6番1号 あいおいニッセイ同和損保 御堂筋ビル |
| 195 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社アルボース | 大阪市中央区備後町2-4-9(日本精化ビル) |
| 196 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社アスパークメディカル | 大阪市中央区淡路町1-4-9(O.C.S淡路町ビル) |
| 197 | 大阪医薬品協会 | ○ | オール薬品工業株式会社 | 大阪市中央区平野町1-8-13(平野町八千代ビル) |
| 198 | 大阪医薬品協会 | ○ | 千寿製薬株式会社 | 大阪市中央区平野町2-5-8(平野町センチュリービル) |
| 199 | 大阪医薬品協会 | ○ | 日本臓器製薬株式会社 | 大阪市中央区平野町2-1-2(次の鶴ビル) |
| 200 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社メディオン | 大阪市中央区平野町2-5-8(平野町センチュリービル) |
| 201 | 大阪医薬品協会 | ○ | 乾卯栄養化学株式会社 | 大阪市中央区道修町1-3-7 |
| 202 | 大阪医薬品協会 | ○ | カイゲンファーマ株式会社 | 大阪市中央区道修町2-5-14 |
| 203 | 大阪医薬品協会 | ○ | 小坂製薬株式会社 | 大阪市中央区道修町2-5-8 |
| 204 | 大阪医薬品協会 | ○ | コニシ株式会社 | 大阪市中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル) |
| 205 | 大阪医薬品協会 | ○ | 小林製薬株式会社 | 大阪市中央区道修町4-4-10(KDX小林道修町ビル) |
| 206 | 大阪医薬品協会 | ○ | 塩野義製薬株式会社 | 大阪市中央区道修町3-1-8 |
| 207 | 大阪医薬品協会 | ○ | 塩野香料株式会社 | 大阪市中央区道修町3-1-6 |
| 208 | 大阪医薬品協会 | ○ | 塩野フィネス株式会社 | 大阪市中央区道修町3-1-6 |
| 209 | 大阪医薬品協会 | ○ | 田村薬品工業株式会社 | 大阪市中央区道修町2-1-10 |
| 210 | 大阪医薬品協会 | ○ | 東洋製薬化成株式会社 | 大阪市中央区道修町2-1-5(小野薬品工業株式会社本店ビル) |
| 211 | 大阪医薬品協会 | ○ | 日新化成株式会社 | 大阪市中央区道修町1-7-10(扶桑道修町ビル) |
| 212 | 大阪医薬品協会 | ○ | ニプロファーマ株式会社 | 大阪市中央区道修町2-2-7 |
| 213 | 大阪医薬品協会 | ○ | 日本粉末薬品株式会社 | 大阪市中央区道修町2-5-11 |
| 214 | 大阪医薬品協会 | ○ | 藤本化学製品株式会社 | 大阪市中央区道修町4-5-13 |
| 215 | 大阪医薬品協会 | ○ | 米山薬品工業株式会社 | 大阪市中央区道修町2-3-11 |
| 216 | 大阪医薬品協会 | ○ | 健栄製薬株式会社 | 大阪市中央区伏見町2-5-8 |
| 217 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社目黒研究所 | 大阪市中央区伏見町2-6-4 |
| 218 | 大阪医薬品協会 | ○ | ステラファーマ株式会社 | 大阪市中央区高麗橋3-2-7(ORIX高麗橋ビル) |
| 219 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社住化分析センター | 大阪市中央区高麗橋4-6-17(住化不動産横堀ビル) |
| 220 | 大阪医薬品協会 | ○ | 扶桑化学工業株式会社 | 大阪府大阪市中央区高麗橋4-3-10 |
| 221 | 大阪医薬品協会 | ○ | コアメット株式会社 | 大阪市中央区北浜2-1-21(つねなりビル) |
| 222 | 大阪医薬品協会 | ○ | シノギヘルスクエア株式会社 | 大阪市中央区北浜2-6-18(淀屋橋スクエア) |
| 223 | 大阪医薬品協会 | ○ | 住友精化株式会社 | 大阪市中央区北浜4-5-33(住友ビル) |
| 224 | 大阪医薬品協会 | ○ | 武田薬品工業株式会社 | 大阪市中央区道修町4-1-1 |
| 225 | 大阪医薬品協会 | ○ | 和光純薬工業株式会社 | 大阪市中央区道修町3-1-2 |
| 226 | 大阪医薬品協会 | ○ | 暁理株式会社 | 大阪市中央区淡路町1-7-3 |
| 227 | 大阪医薬品協会 | ○ | アルフレッサファーマ株式会社 | 大阪市中央区石町2-2-9 |
| 228 | 大阪医薬品協会 | ○ | ホスビーラ・ジャパン株式会社 | 大阪市中央区城見1-2-27(クリスタルタワー) |
| 229 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社カナエ | 大阪市中央区城見1-2-27(クリスタルタワー) |
| 230 | 大阪医薬品協会 | ○ | 太平化学産業株式会社 | 大阪市中央区東高麗橋1-19 |
| 231 | 大阪医薬品協会 | ○ | 堀井薬品工業株式会社 | 大阪市中央区内淡路町1-2-6 |
| 232 | 大阪医薬品協会 | ○ | キシダ化学株式会社 | 大阪市中央区本町橋3-1 |
| 233 | 大阪医薬品協会 | ○ | 特定非営利活動法人 医薬品・食品品質保証支援センター | 大阪市中央区内本町1-4-12 301号室 |
| 234 | 大阪医薬品協会 | ○ | ハクゾウメディカル株式会社 | 大阪市中央区徳井町2-4-9 |
| 235 | 大阪医薬品協会 | ○ | 大塚化学株式会社 | 大阪市中央区大手通3-2-27 |
| 236 | 大阪医薬品協会 | ○ | 川本産業株式会社 | 大阪市中央区谷町2-6-4 |
| 237 | 大阪医薬品協会 | ○ | アグサジャパン株式会社 | 大阪市中央区玉造1-2-34 |
| 238 | 大阪医薬品協会 | ○ | 辻本化学工業株式会社 | 大阪市鶴見区鶴見1-6-88 |
| 239 | 大阪医薬品協会 | ○ | ワダカルシウム製薬株式会社 | 大阪市鶴見区今津南2-7-6号 |
| 240 | 大阪医薬品協会 | ○ | 丸石製薬株式会社 | 大阪市鶴見区今津中2-4-2 |
| 241 | 大阪医薬品協会 | ○ | 扶桑薬品工業株式会社 | 大阪市城東区森之宮2-3-11 |
| 242 | 大阪医薬品協会 | ○ | 福井製薬株式会社 | 大阪市城東区今福東3-1-26 |
| 243 | 大阪医薬品協会 | ○ | 大和化成工業株式会社 | 大阪市旭区中宮3-1-27 |
| 244 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社ビーブランド・メディコーデンタル | 大阪市東淀川区西淡路5-20-19 |
| 245 | 大阪医薬品協会 | ○ | 浜理薬品工業株式会社 | 大阪市東淀川区柴島1-4-29 |
| 246 | 大阪医薬品協会 | ○ | 三友薬品株式会社 | 大阪市東淀川区南江口3-1-51 |
| 247 | 大阪医薬品協会 | ○ | オー・ジー株式会社 | 大阪市淀川区宮原4-1-43 |
| 248 | 大阪医薬品協会 | ○ | 田辺三菱製薬工場株式会社 | 大阪市淀川区加島3-16-89 |
| 249 | 大阪医薬品協会 | ○ | 白水貿易株式会社 | 大阪市淀川区新高1-1-15 |
| 250 | 大阪医薬品協会 | ○ | 其和薬品工業株式会社 | 大阪市淀川区西中島5-13-9(新大阪MTビル1号館) |
| 251 | 大阪医薬品協会 | ○ | 沢井製薬株式会社 | 大阪市淀川区宮原5-2-30 |
| 252 | 大阪医薬品協会 | ○ | メディサ新薬株式会社 | 大阪市淀川区宮原5-2-27(新大阪沢井ビル) |
| 253 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社リニカル | 大阪市淀川区宮原1-6-1(新大阪ブリックビル) |
| 254 | 大阪医薬品協会 | ○ | 湧永製薬株式会社 | 大阪市淀川区宮原4-5-36(セントラル新大阪ビル) |
| 255 | 大阪医薬品協会 | ○ | ニプロ株式会社 | 大阪市北区本庄西3-9-3 |
| 256 | 大阪医薬品協会 | ○ | サイアヤファーマ株式会社 | 大阪市北区豊崎3-19-3 |
| 257 | 大阪医薬品協会 | ○ | 小太郎漢方製薬株式会社 | 大阪市北区中津2-5-23 |
| 258 | 大阪医薬品協会 | ○ | マルホ株式会社 | 大阪市北区中津1-5-22 |
| 259 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社クラレ | 大阪市北区角田町8-1(梅田阪急ビルオフィスタワー) |
| 260 | 大阪医薬品協会 | ○ | 参天製薬株式会社 | 大阪市北区大深町4-20(グランフロント大阪タワーA) |
| 261 | 大阪医薬品協会 | ○ | 東洋紡株式会社 | 大阪市北区堂島浜2-2-8 |
| 262 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社柳本天海堂 | 大阪市北区末広町3-21(新星和扇町ビル) |
| 263 | 大阪医薬品協会 | ○ | アイメディックス株式会社 | 大阪市北区西天満3-5-2(クリエ西天満) |
| 264 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社ミューチュアル | 大阪市北区西天満1-2-5(大阪JAビル) |
| 265 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社ファイブリングス | 大阪市北区東天満2-9-4(千代田ビル東館) |
| 266 | 大阪医薬品協会 | ○ | 東興薬品工業株式会社 | 大阪市北区浪花町14-25 |
| 267 | 大阪医薬品協会 | ○ | アストロゼネカ株式会社 | 大阪市北区大深町3-1(グランフロント大阪タワーB) |
| 268 | 大阪医薬品協会 | ○ | シミックホールディングス株式会社大阪支社 | 大阪市北区中之島2-2-7(中之島セントラルタワー) |
| 269 | 大阪医薬品協会 | ○ | 三協化成株式会社 | 大阪市北区堂島浜1-4-16 |
| 270 | 大阪医薬品協会 | ○ | DSP五協フード&ケミカル株式会社 | 大阪市北区梅田2-5-25(ハービスOSAKA) |
| 271 | 大阪医薬品協会 | ○ | 株式会社インテリム | 大阪府大阪市北区梅田3-4-5(毎日インテシオ18階) |

| No. | 協会名 | 関西エリア | 会社名 | 住所 |
|-----|---------|-------|------------------------------|-----------------------------------------|
| 272 | 大阪医薬品協会 | ○ | バイエル薬品株式会社 | 大阪市北区梅田2-4-9(ブリーゼタワー) |
| 273 | 大阪医薬品協会 | ○ | 東洋化学株式会社 | 滋賀県蒲生郡日野町寺尻1008 |
| 274 | 大阪医薬品協会 | ○ | ジェイドルフ製薬株式会社 | 滋賀県甲賀市土山町北土山12739 |
| 275 | 大阪医薬品協会 | ○ | キョーリン製薬グループ工場株式会社 | 滋賀県甲賀市水口町笹が丘1-4 |
| 276 | 大阪医薬品協会 | ○ | タカラバイオ株式会社 | 滋賀県草津市野路東7-4-38 |
| 277 | 大阪医薬品協会 | ○ | 武田テバ薬品株式会社 | 滋賀県甲賀市甲賀町大原市場3 |
| 278 | 大阪医薬品協会 | ○ | 滋賀県製薬株式会社 | 滋賀県甲賀市甲賀町滝879 |
| 279 | 大阪医薬品協会 | ○ | 日新薬品工業株式会社 | 滋賀県甲賀市甲賀町田塚野80-1 |
| 280 | 大阪医薬品協会 | ○ | 大原薬品工業株式会社 | 滋賀県甲賀市甲賀町鳥居野121-5 |
| 281 | 大阪医薬品協会 | ○ | 平和メディック株式会社 | 岐阜県高山市上岡本町8-135 |
| 282 | 大阪医薬品協会 | ○ | アピ株式会社池田医薬品工場 | 岐阜県揖斐郡池田町段234-1 |
| 283 | 大阪医薬品協会 | ○ | 日興製薬株式会社 | 岐阜県羽島市上中町一色467-1 |
| 284 | 大阪医薬品協会 | | 日本製薬工業株式会社 | 愛知県小牧市小木東1-186 |
| 285 | 大阪医薬品協会 | | 松浦薬業株式会社 | 愛知県名古屋市中区栄2-24-21 |
| 286 | 大阪医薬品協会 | | 栄新薬株式会社 | 名古屋市中区千種区竹蔵一丁目8番9号 |
| 287 | 大阪医薬品協会 | | ホーユー株式会社 | 愛知県名古屋市中区徳川1-501 |
| 288 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社三和化学研究所 | 愛知県名古屋市中区東外堀町35 |
| 289 | 大阪医薬品協会 | | 天野エンザイム株式会社 | 愛知県名古屋市中区錦1-2-7 |
| 290 | 大阪医薬品協会 | | 中北薬品株式会社 | 愛知県名古屋市中区丸の内3-5-15(油イビル) |
| 291 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社医学生物学研究所 | 名古屋市中区栄四丁目5-3(KDX名古屋栄ビル10階) |
| 292 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社メニコン | 愛知県名古屋市中区葵3-21-19 |
| 293 | 大阪医薬品協会 | | ハルレイ医薬株式会社 | 愛知県名古屋市中区錦3-5-31(ジブラルタ生命名古屋ビル) |
| 294 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社日本点眼薬研究所 | 愛知県名古屋市中区西接町76 |
| 295 | 大阪医薬品協会 | | テバ製薬株式会社 | 愛知県名古屋市中村区大岡1-24-11 |
| 296 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社メニコン | 愛知県名古屋市中区市場木町390 |
| 297 | 大阪医薬品協会 | | ラクオリア創薬株式会社 | 名古屋市中村区名駅南1-21-19(Daiwa名駅ビル) |
| 298 | 大阪医薬品協会 | | ハウプト・ファーマ取手株式会社 | 茨城県取手市小文間5662 |
| 299 | 大阪医薬品協会 | | オンセラボ・サイエンス株式会社 | 神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1(かながわサイエンスパーク R&D棟) |
| 300 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社アスクレップ | 東京都豊島区東池袋3-1-3(ワールドインポートマートビル) |
| 301 | 大阪医薬品協会 | | シャイアーム・ジャパン株式会社 | 東京都新宿区北新宿2-21-1(新宿フロントタワー) |
| 302 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社HDEC | 東京都新宿区西新宿6-5-1(新宿アイランドタワー) |
| 303 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社エスアールエル・メディサーチ | 東京都新宿区西新宿6-5-1(新宿アイランドタワー) |
| 304 | 大阪医薬品協会 | | ACメディカル株式会社 | 東京都新宿区西新宿2-6-1(新宿住友ビル) |
| 305 | 大阪医薬品協会 | | イービーエス株式会社 | 東京都新宿区下宮比町2-23(つるやビル) |
| 306 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社EPSアソシエイト | 東京都新宿区下宮比町2番23号(つるやビル8階) |
| 307 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社アールビーエム | 東京都新宿区西新宿3-2-4(新和ビルディング) |
| 308 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社サン・フレア | 東京都新宿区四谷4-7(新宿ヒロセビル) |
| 309 | 大阪医薬品協会 | | ミツバ貿易株式会社 | 東京都新宿区四谷1-4(綿平野原ビル) |
| 310 | 大阪医薬品協会 | | バイオマリンファーマシューティカルジャパン株式会社 | 東京都渋谷区代々木2-1-17(ラウンドクロス新宿) |
| 311 | 大阪医薬品協会 | | 日機装株式会社 | 東京都渋谷区恵比寿4-20-3(恵比寿ガーデンプレイスタワー) |
| 312 | 大阪医薬品協会 | | アサヒフードアンドヘルスケア株式会社 | 東京都渋谷区恵比寿南2-4-1 |
| 313 | 大阪医薬品協会 | | アレクシオンファーマ合同会社 | 東京都渋谷区恵比寿1-18-14(恵比寿ファーストスクエア) |
| 314 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社トリニティ | 東京都千代田区麹町2丁目2番31号 麹町サンライズビル301 |
| 315 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社メディクロス | 東京都大田区山王2-5-13(大森北ロビル) |
| 316 | 大阪医薬品協会 | | 日本メジフィジックス株式会社 | 東京都江東区新砂3-4-10 |
| 317 | 大阪医薬品協会 | | バイオCMC株式会社 | 東京都江東区有明3-7-26(有明フロントビル) |
| 318 | 大阪医薬品協会 | | ラクール薬品販売株式会社 | 東京都足立区鹿浜1-9-14 |
| 319 | 大阪医薬品協会 | | ロケットジャパン株式会社 | 東京都文京区西片1-15-15(KDX春日ビル) |
| 320 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社ベル・メディカルソリューションズ | 東京都文京区本駒込2-28-8(文京グリーンコート センターオフィス) |
| 321 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社高研 | 東京都文京区後楽1-4-14(後楽森ビル) |
| 322 | 大阪医薬品協会 | | エイソーヘルスケア株式会社 | 東京都文京区小石川1-4-1(住友不動産後楽園ビル) |
| 323 | 大阪医薬品協会 | | アルビゾランス株式会社 | 東京都台東区浅草1-39-11 |
| 324 | 大阪医薬品協会 | | エニ・チャーム株式会社 | 東京都港区三田3-5-27(住友不動産三田ツインビル西館) |
| 325 | 大阪医薬品協会 | | 日本エア・リキード株式会社 | 東京都港区芝浦3-4-1(グランパークタワー) |
| 326 | 大阪医薬品協会 | | 川澄化学工業株式会社 | 東京都港区港南2-15-2(品川インターシティB棟) |
| 327 | 大阪医薬品協会 | | ムンディファーマ株式会社 | 東京都港区港南2-15-1(品川インターシティA棟) |
| 328 | 大阪医薬品協会 | | INC Research Japan株式会社 | 東京都港区港南2-16-1(品川イーストワンタワー) |
| 329 | 大阪医薬品協会 | | クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社 | 東京都港区高輪4-10-18(東京急行ビル) |
| 330 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社日本アルトマーク | 東京都港区芝5-33-1(森永プラザビル本館) |
| 331 | 大阪医薬品協会 | | AEGERION PHARMACEUTICALS株式会社 | 東京都港区赤坂1-12-32(アーク森ビル) |
| 332 | 大阪医薬品協会 | | 伊藤忠ケミカルフロンティア株式会社 | 東京都港区北青山2-5-1 |
| 333 | 大阪医薬品協会 | | SBIファーマ株式会社 | 東京都港区六本木1-6-1(泉ガーデンタワー) |
| 334 | 大阪医薬品協会 | | 富士フィルムファーマ株式会社 | 東京都港区西麻布2-26-30 |
| 335 | 大阪医薬品協会 | | 日本赤十字社 | 港区芝大門1-1-3 |
| 336 | 大阪医薬品協会 | | 一般社団法人 日本血液製剤機構 | 東京都港区浜松町2-4-1(世界貿易センタービル) |
| 337 | 大阪医薬品協会 | | クオリテックファーマ株式会社 | 東京都港区海岸1-2-20(汐留ビルディング) |
| 338 | 大阪医薬品協会 | | サンファーマ株式会社 | 東京都港区芝公園1-7-6 CROSS PLACE浜松町 |
| 339 | 大阪医薬品協会 | | スミス・アンド・ネフューン・マネジメント株式会社 | 東京都港区芝公園2-4-1(芝パークビル) |
| 340 | 大阪医薬品協会 | | エイエムオー・ジャパン株式会社 | 東京都港区虎ノ門5-13-1(虎ノ門40MTビル) |
| 341 | 大阪医薬品協会 | | テバエービーアイ株式会社 | 東京都港区虎ノ門5-1-5(外ロシティー神谷町) |
| 342 | 大阪医薬品協会 | | テバファーマシューティカル株式会社 | 東京都港区虎ノ門5-1-5(外ロシティー神谷町) |
| 343 | 大阪医薬品協会 | | フェリング・ファーマ株式会社 | 東京都港区虎ノ門2-3-17(虎ノ門2丁目タワー) |
| 344 | 大阪医薬品協会 | | マイラン製薬株式会社 | 東京都港区虎ノ門5-11-2(オランダヒルズ森タワー) |
| 345 | 大阪医薬品協会 | | ルンドバック・ジャパン株式会社 | 東京都港区虎ノ門5-1-4(東都ビル) |
| 346 | 大阪医薬品協会 | | 住友化学株式会社 | 東京都中央区新川2-27-1(東京住友ツインビル東館) |
| 347 | 大阪医薬品協会 | | アリストヘルスアンドニュートリションサイエンス株式会社 | 東京都中央区明石町 8-1(聖路加タワー) |
| 348 | 大阪医薬品協会 | | 住商ファーマイグラーショナル株式会社 | 東京都中央区晴海1-8-12(晴海アイランドトリニクスエアオフィスタワーZ棟) |
| 349 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社新日本科学PPD | 東京都中央区明石町8-1(聖路加タワー) |
| 350 | 大阪医薬品協会 | | ハレクセル・インターナショナル株式会社 | 東京都中央区新川1-17-21 |
| 351 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社エスアールディ | 東京都中央区八丁堀3-4-8(RBM京橋ビル) |
| 352 | 大阪医薬品協会 | | 白井松新薬株式会社 | 東京都中央区京橋2-7-14(ビュレックス京橋) |
| 353 | 大阪医薬品協会 | | 東レ株式会社 | 東京都中央区日本橋室町2-1-1(日本橋三井タワー) |
| 354 | 大阪医薬品協会 | | 第一三共プロファーマ株式会社 | 東京都中央区日本橋本町3-5-1 |
| 355 | 大阪医薬品協会 | | 北興化学工業株式会社 | 東京都中央区日本橋本町1-5-4(住友不動産日本橋ビル) |
| 356 | 大阪医薬品協会 | | ナイフックス合同会社 | 東京都中央区日本橋兜町21-7(兜町エニ・スクエア) |
| 357 | 大阪医薬品協会 | | 日本メダック株式会社 | 東京都中央区日本橋小舟町12-12(日本橋中屋ビル) |
| 358 | 大阪医薬品協会 | | 小川香料株式会社 | 東京都中央区日本橋本町4-1-11 |
| 359 | 大阪医薬品協会 | | 小林薬品工業株式会社 | 東京都中央区日本橋箱崎町40-6 |
| 360 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社コーブリッジ | 東京都千代田区平河町2-7-2(平河町ビルディング) |
| 361 | 大阪医薬品協会 | | 宏輝株式会社 | 東京都千代田区三番町2(三番町KSビル) |
| 362 | 大阪医薬品協会 | | 富士製薬工業株式会社 | 東京都千代田区三番町5-7 |

| No. | 協会名 | 関西エリア | 会社名 | 住所 |
|-----|---------|-------|----------------|---------------------------------------|
| 363 | 大阪医薬品協会 | | フマキラー株式会社 | 東京都千代田区神田美倉町11 |
| 364 | 大阪医薬品協会 | | 三谷産業株式会社 | 東京都千代田区神田神保町2-36-1(住友不動産千代田ファーストウイング) |
| 365 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社アイコン・ジャパン | 東京都千代田区神田美土代町9-1(MD神田ビル) |
| 366 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社アクセライズ | 東京都千代田区神田小川町1-11(千代田小川町クロスタ) |
| 367 | 大阪医薬品協会 | | アース製菓株式会社 | 東京都千代田区神田司町2-12-1 |
| 368 | 大阪医薬品協会 | | アース環境サービス株式会社 | 東京都千代田区神田紺屋町17 |
| 369 | 大阪医薬品協会 | | レオファーマ株式会社 | 東京都千代田区岩本町3-11-6 |
| 370 | 大阪医薬品協会 | | 日本製菓株式会社 | 東京都千代田区東神田1-9-8 |
| 371 | 大阪医薬品協会 | | 双日株式会社 | 東京都千代田区内幸町2-1-1 |
| 372 | 大阪医薬品協会 | | 協和発酵バイオ株式会社 | 東京都千代田区大手町1-6-1 |
| 373 | 大阪医薬品協会 | | セルジーン株式会社 | 東京都千代田区丸の内2-7-2(JPタワー) |
| 374 | 大阪医薬品協会 | | 株式会社アールテック・ウエノ | 東京都千代田区内幸町1-1-7(NBF日比谷) |
| 375 | 大阪医薬品協会 | | 信越化学工業株式会社 | 東京都千代田区大手町2-6-1(朝日生命大手町ビル) |